

にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン
「西区地域福祉保健計画」推進のための区民アンケート結果

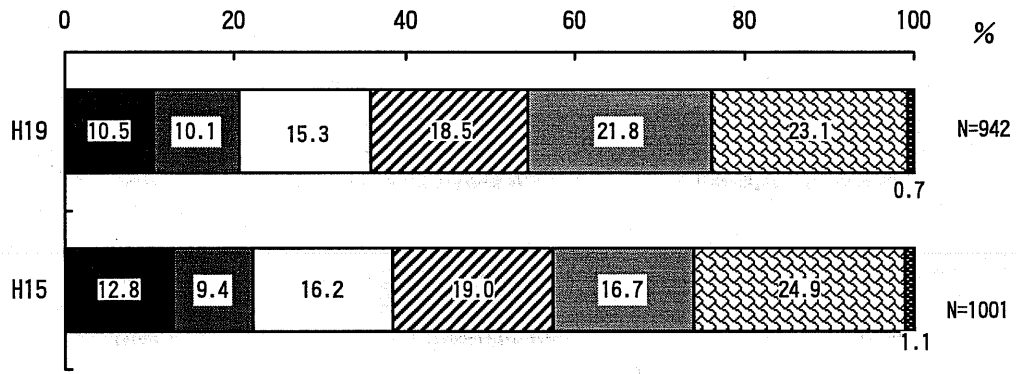
調査期間 平成19年8月20日～9月4日
対象者数 18歳以上の西区民2,500人（無作為抽出）
回答者数 942人（回答率 37.7%）

平成19年11月27日

西 区

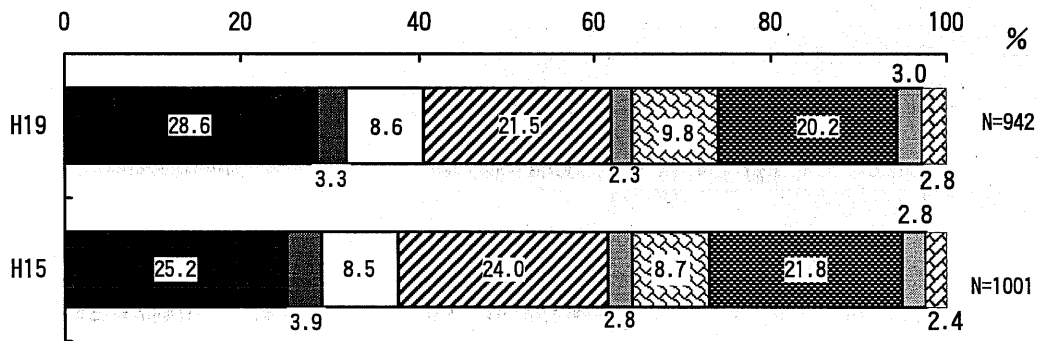
1	回答者の状況	1～4頁
	居住地区	
	職業	
	居住形態	
	居住年数	
	同居家族	
	性別	
	年齢	
2	問1～問24の結果及び前回との比較	5～25頁
3	その他記入内容	26～33頁
	近隣で困っている人を支える関係づくりのアイデア	
4	前回と比較してポイントが下がった項目	34～35頁
5	アンケート用紙	36～43頁

[居住地区]



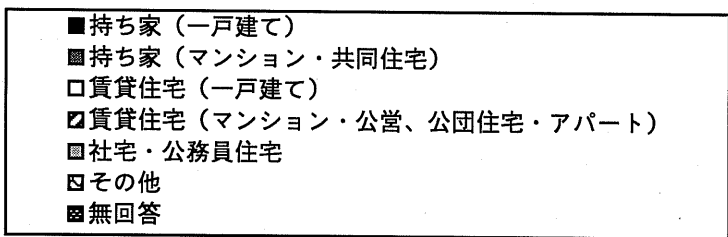
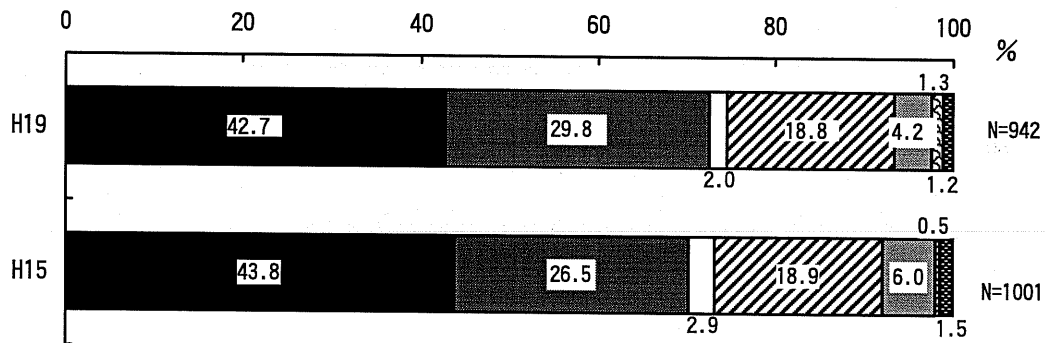
- 第1地区 桜木町・花咲町・紅葉ヶ丘・宮崎町・戸部本町・戸部町・御所山町
- 第2地区 西戸部町3丁目・伊勢町3丁目・中央1,2丁目・西前町
- 第3地区 藤棚町・元久保町・東久保町・久保町・浜松町
- ▨ 第4地区 老松町・東ヶ丘・赤門町・霞ヶ丘・西戸部町1,2丁目・境之谷・伊勢町1,2丁目
- ▩ 第5地区 高島1,2丁目・平沼1,2丁目・西平沼町・岡野1,2丁目・南幸1,2丁目・北幸1,2丁目・緑町・みなとみらい
- ▧ 第6地区 浅間町・南浅間町・浅間台・楠町・宮ヶ谷・南軽井沢・北軽井沢
- 無回答

[職業]

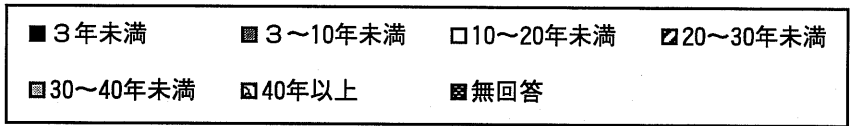
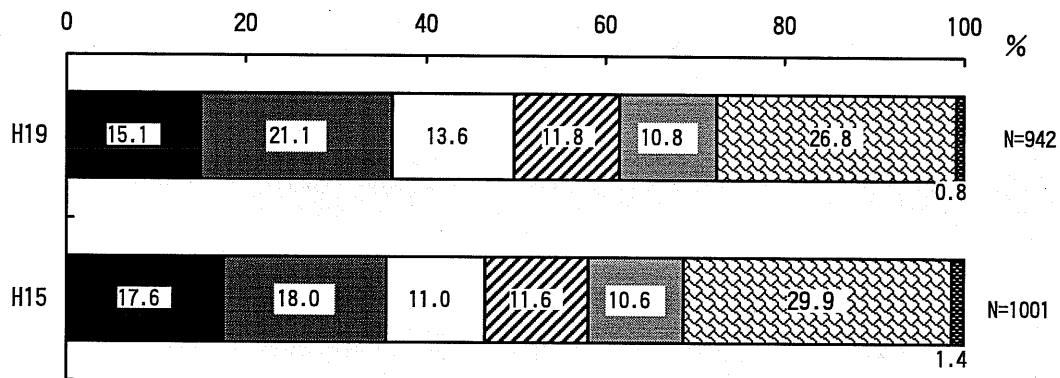


- 会社員
- 公務員
- 自営業
- ▨ 主婦
- 学生
- ▩ パート・アルバイト
- 無職
- その他
- ▧ 無回答

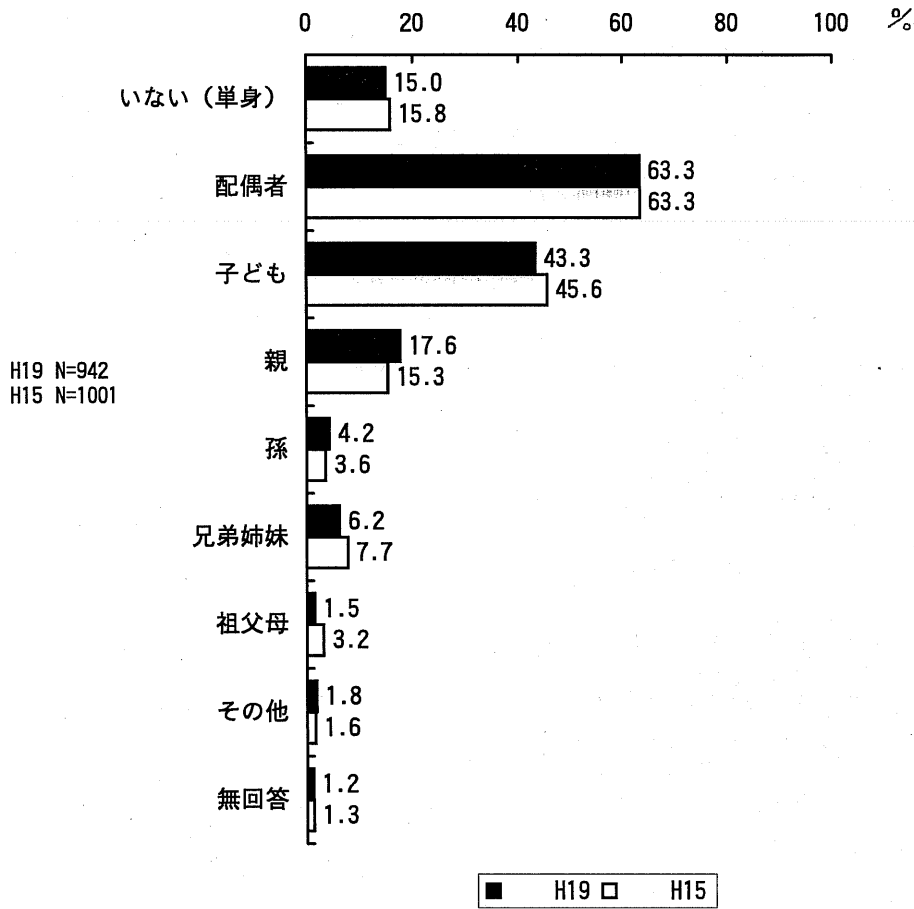
[居住形態]



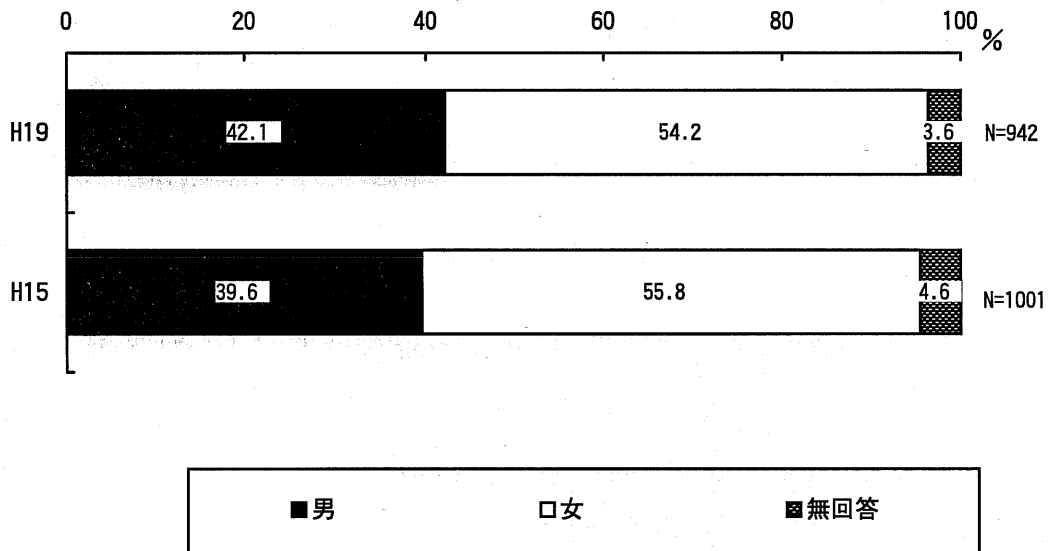
[居住年数]



[同居家族] (複数回答)

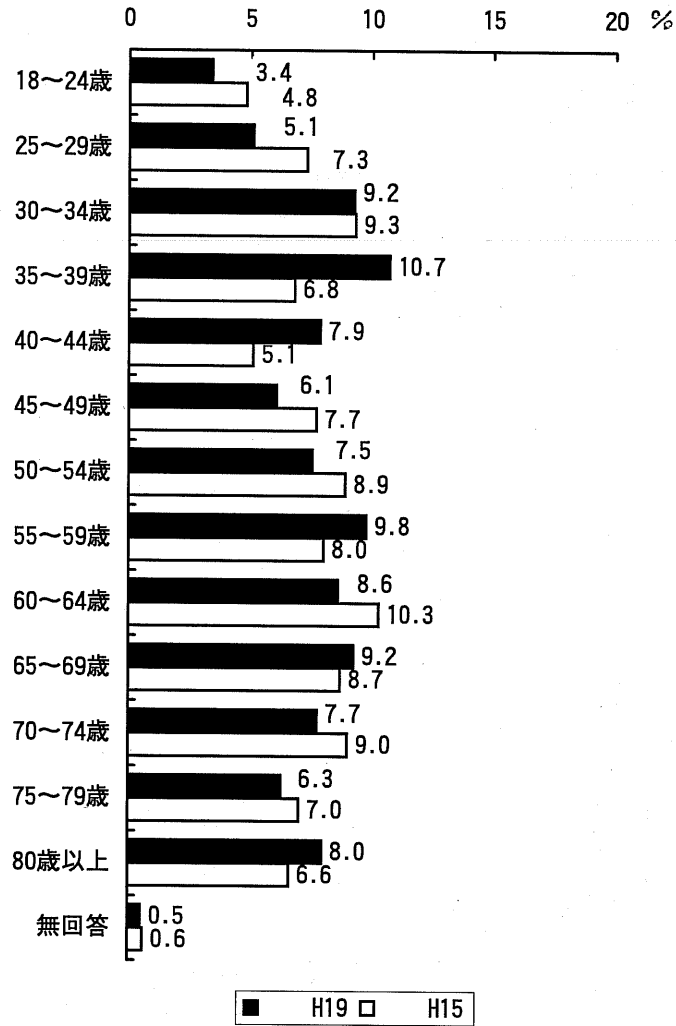


[性別]

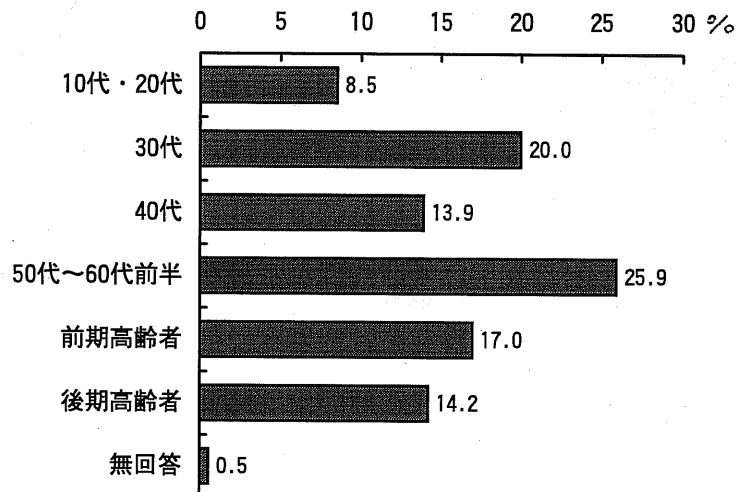


[年齢]

H19 N=942
H15 N=1001

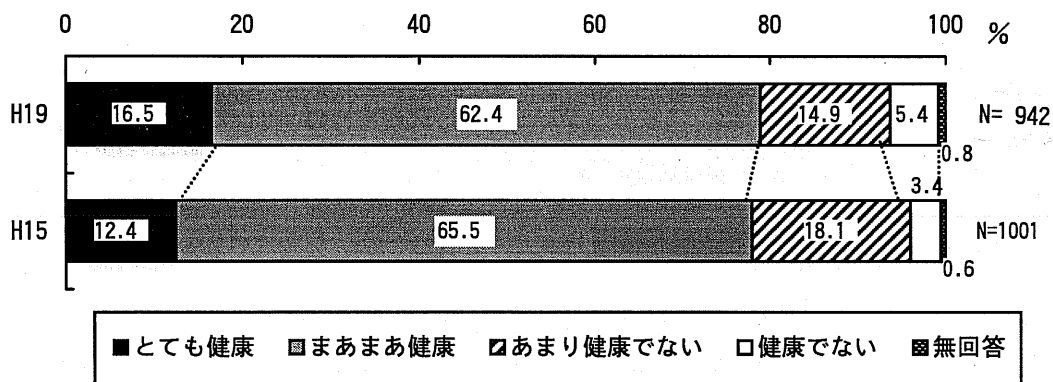


[年代]
H19のみ (参考)



問1 現在（2～3か月間）の健康状態について

《目標2》

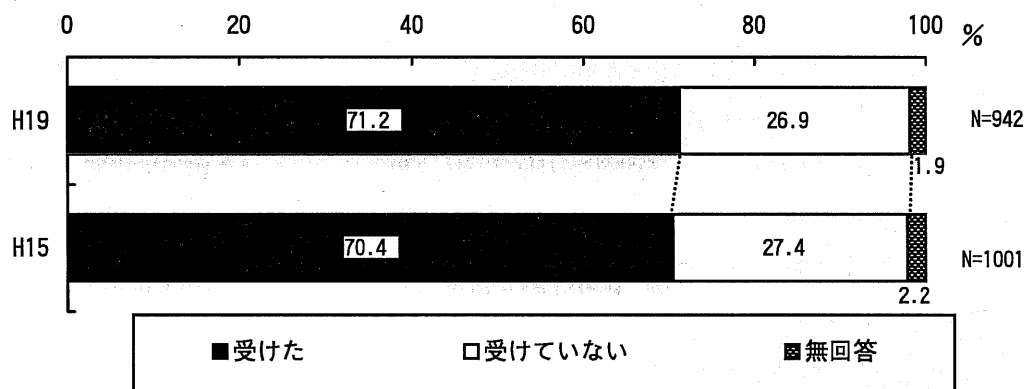


目標値到達まで **1.1**ポイント

	H15	H19	H21
自分が健康だと感じている	77.9%	78.9%	80.0%
	(→1.0ポイント増)		

問2 過去1年の間に健康診断を受けましたか

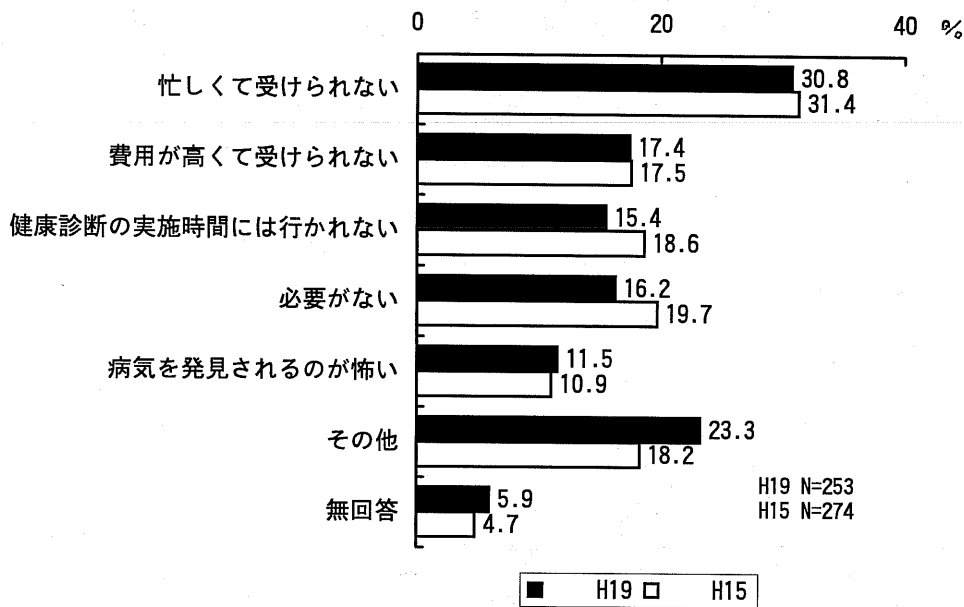
《目標2》



目標値到達まで **8.8**ポイント

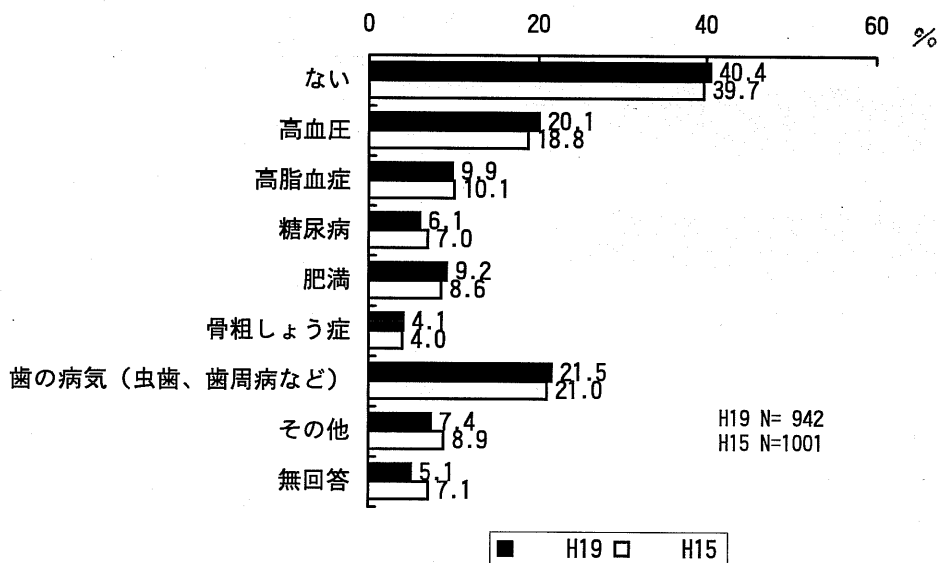
	H15	H19	H21
過去1年の間に健康診断を受けた	70.4%	71.2%	80.0%
	(→0.8ポイント増)		

問2 (1) 健康診断を受けなかった理由 (複数回答)



問3 ここ1～2年間で病院 (診療所) や健康診断などで診断された生活習慣病 (複数回答)

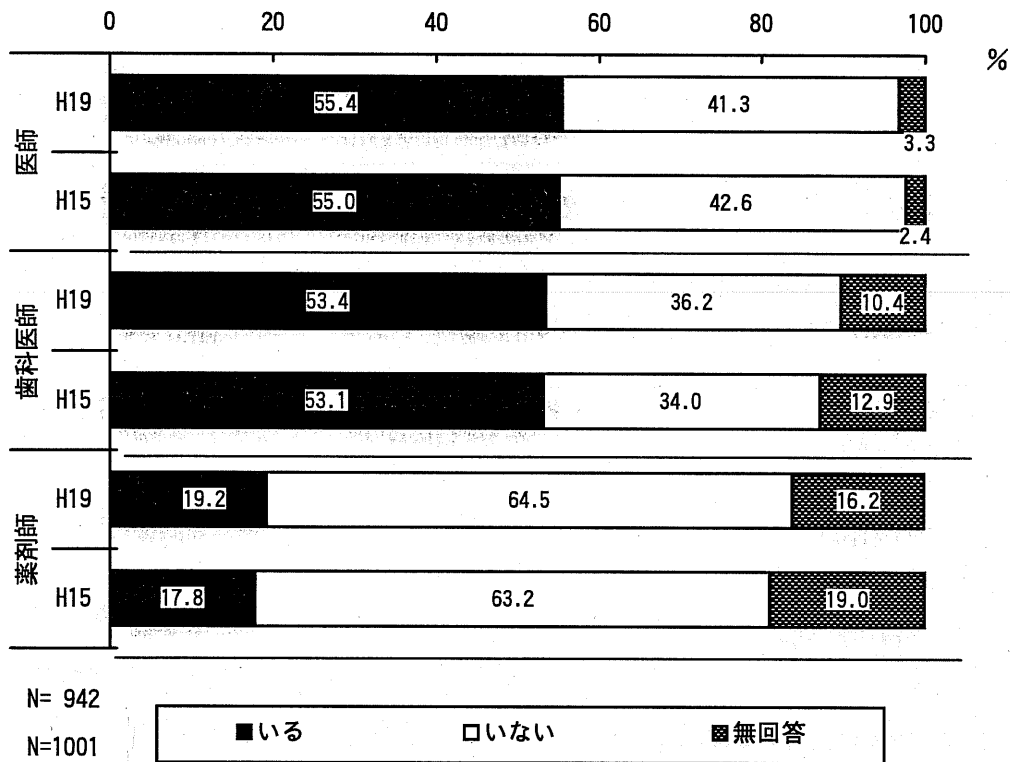
《目標2》



目標値到達まで **9.6**ポイント

	H15	H19	H21
健康診断などの結果、生活習慣病が特にない	39.7%	40.4%	50.0%
		(→0.7ポイント増)	

問4 体調が悪くなったときに相談できるかかりつけ医師、歯科医師、薬剤師がいますか <<目標2>>



目標値到達まで **34.6ポイント**

	H15	H19	H21
体調が悪くなったときに、相談できるかかりつけの医師がいる	55.0%	55.4%	90.0%
			(→0.4ポイント増)

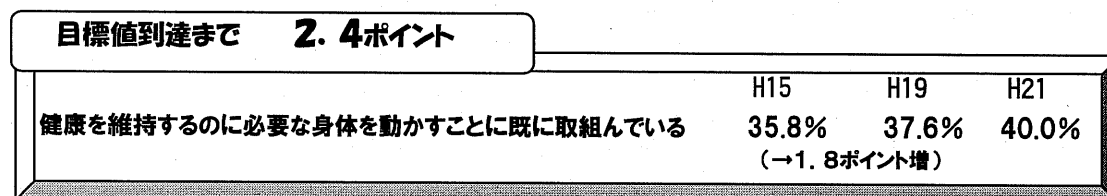
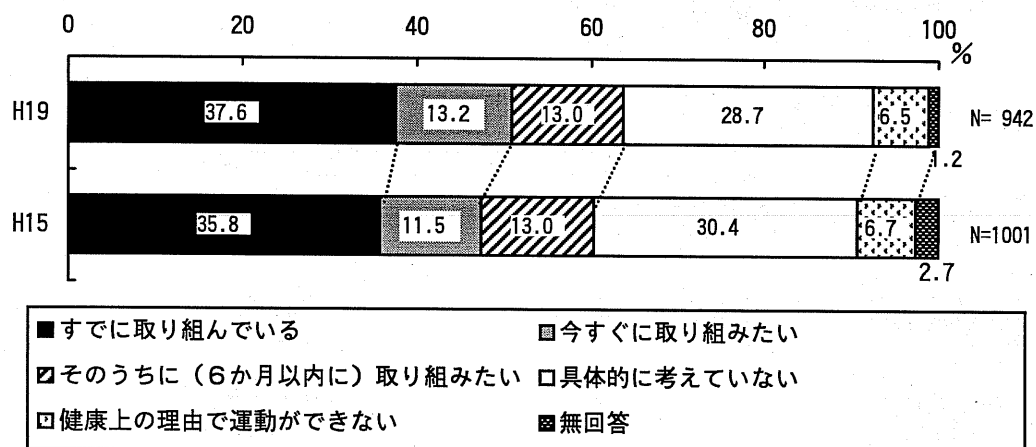
目標値到達まで **36.6ポイント**

	H15	H19	H21
体調が悪くなったときに、相談できるかかりつけの歯科医師がいる	53.1%	53.4%	90.0%
			(→0.3ポイント増)

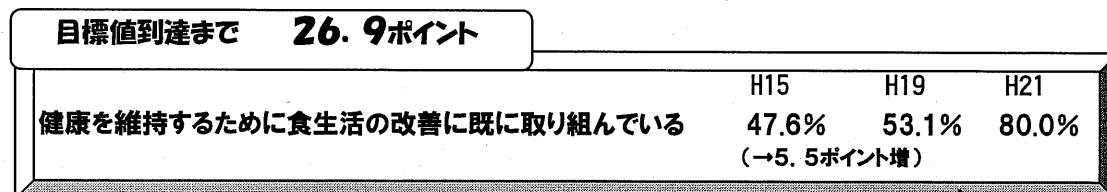
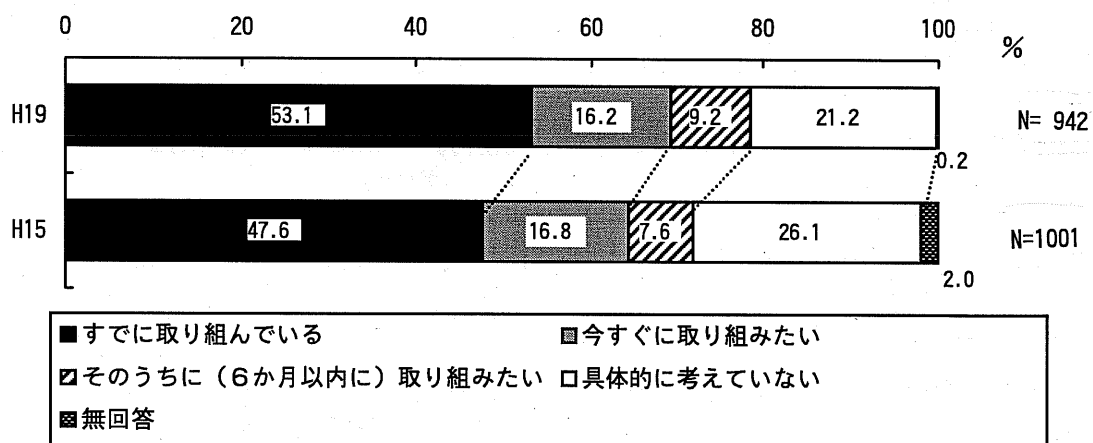
目標値到達まで **10.8ポイント**

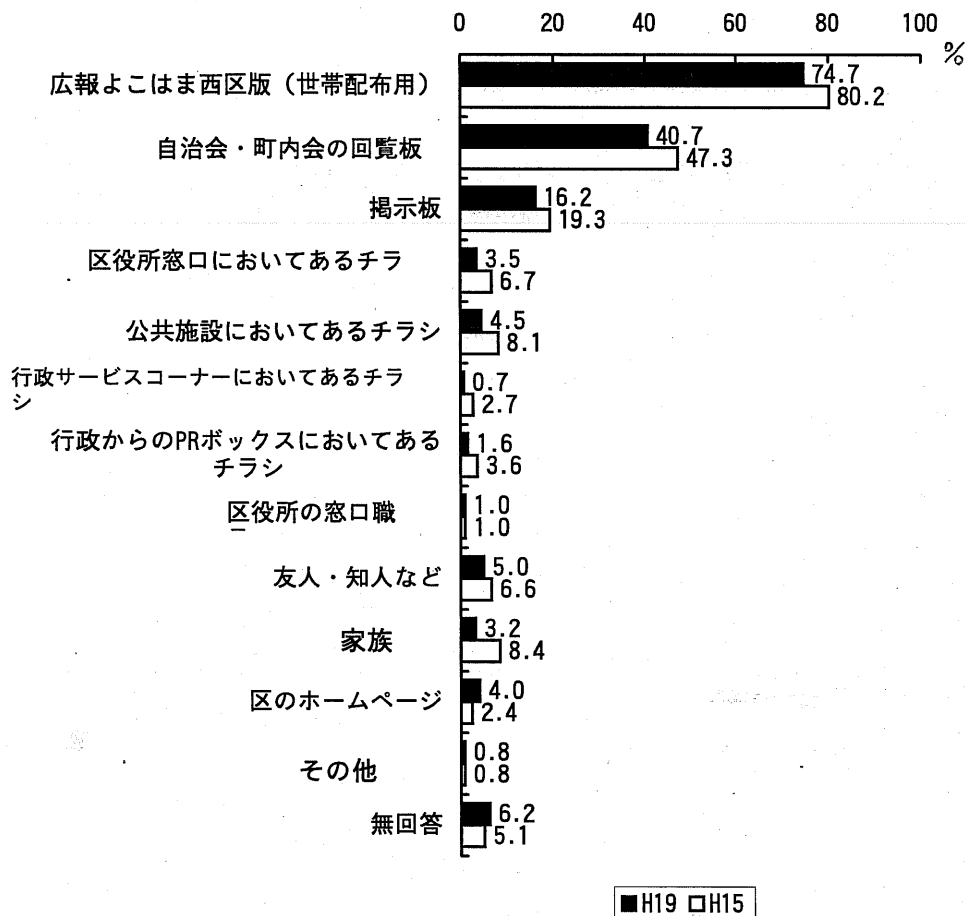
	H15	H19	H21
体調が悪くなったときに、相談できるかかりつけの薬剤師がいる	17.8%	19.2%	30.0%
			(→1.4ポイント増)

問5 健康を維持するのに必要な「スポーツ、ウォーキングなど週2回、1回30分以上の身体を動かすこと」に今後取り組みたいと考えていますか **《目標2》**



問6 健康を維持するために、バランスの良い食事など食生活の改善に今後取り組みたいと考えていますか。 **《目標2》**





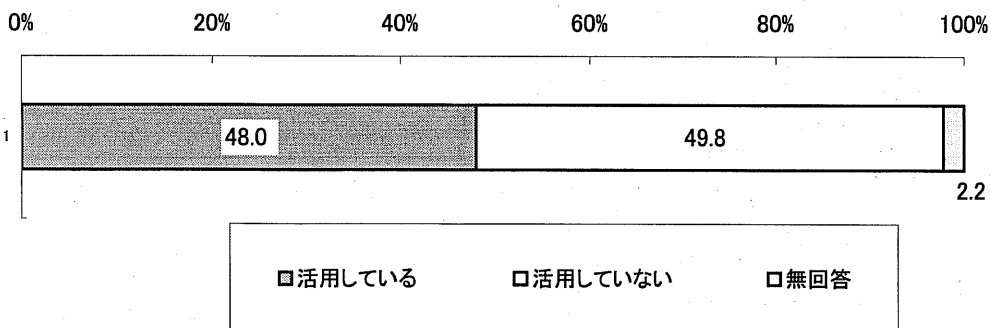
目標値到達まで **6.0**ポイント

西区からのお知らせや催し物の情報をホームページから得る

	H15	H19	H21
西区からのお知らせや催し物の情報をホームページから得る	2.4%	4.0%	10.0%

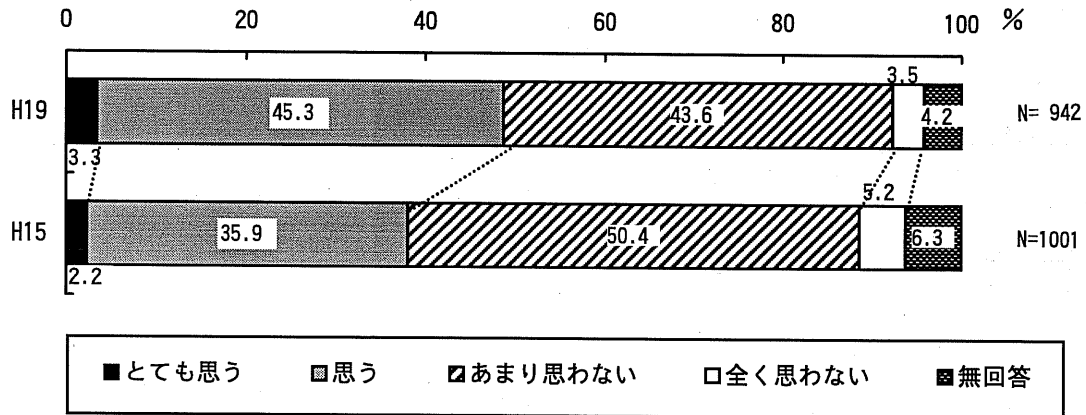
(→1.6ポイント増)

問8 あなたはインターネットを活用していますか（H19年度新設）



問9 「西区は治安が良く、安全が確保されたまち」だと思いますか

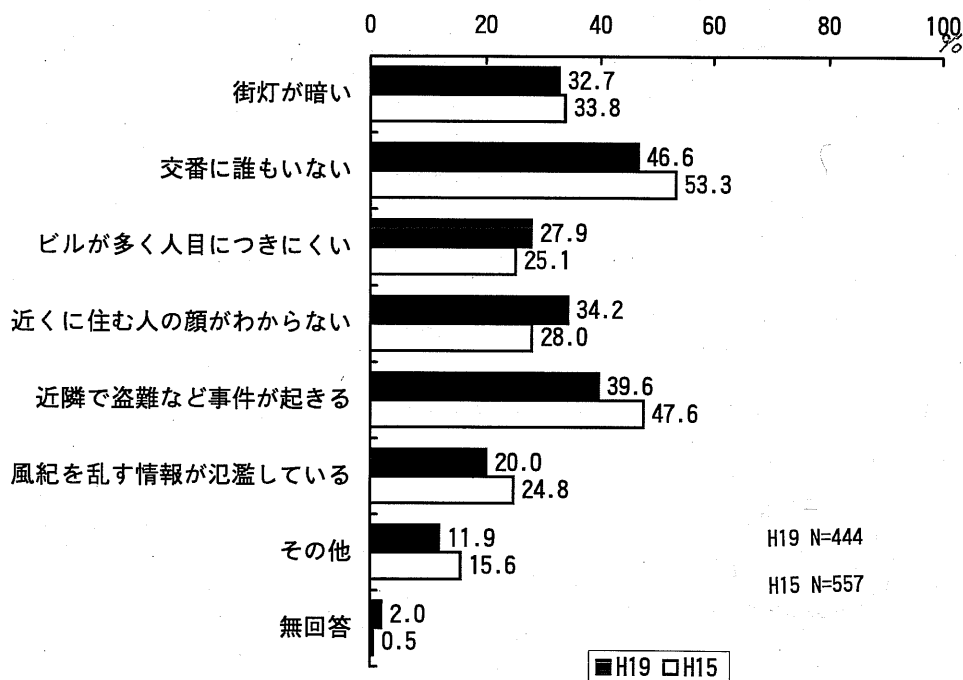
《目標1》



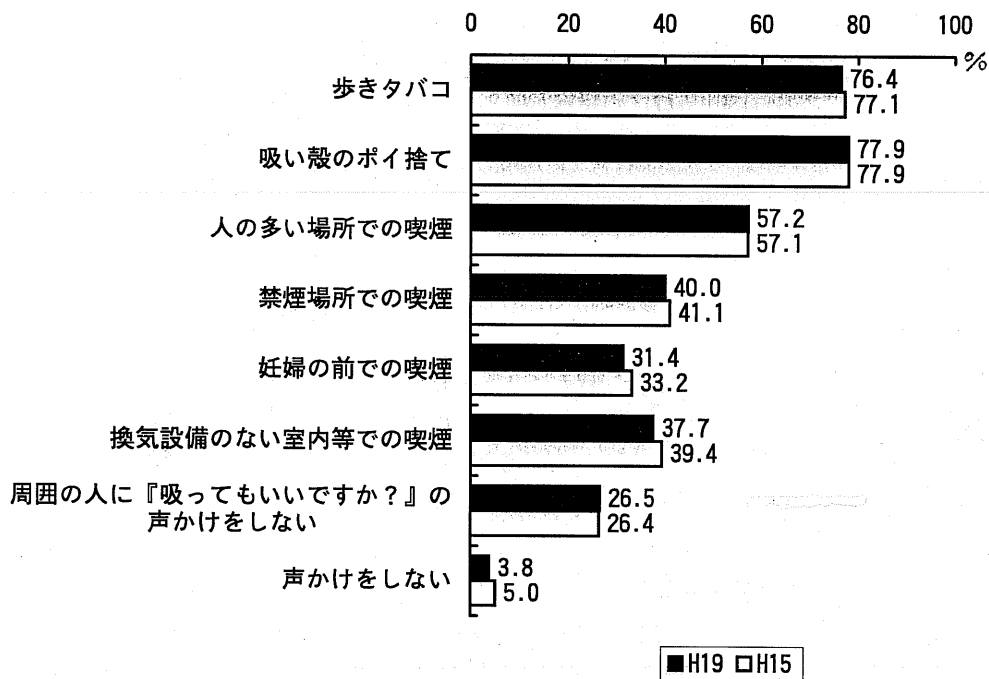
目標値到達まで **11.4ポイント**

	H15	H19	H21
西区は治安が良く、安全が確保されたまちだと思う	38.1%	48.6%	60.0%
		(→10.5ポイント増)	

問9 (1) 治安が良く、安全が確保されていると思わない理由 (複数回答)

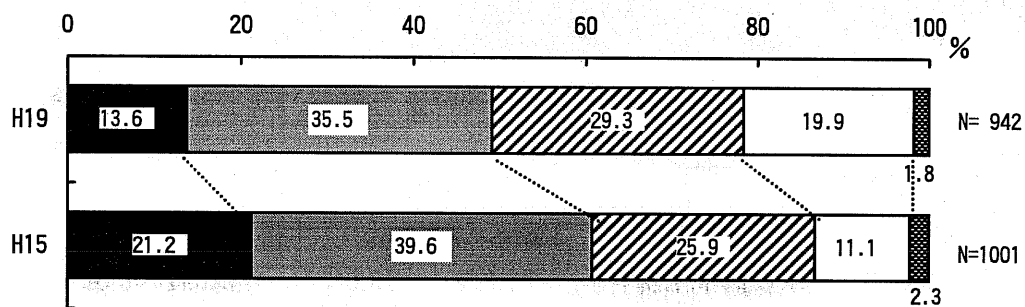


問10 日々の生活の中で、他人のタバコのマナーで嫌だと思うこと（複数回答）



問11 日常生活圏内で未成年者の喫煙を目にすることはありますか

《目標5》



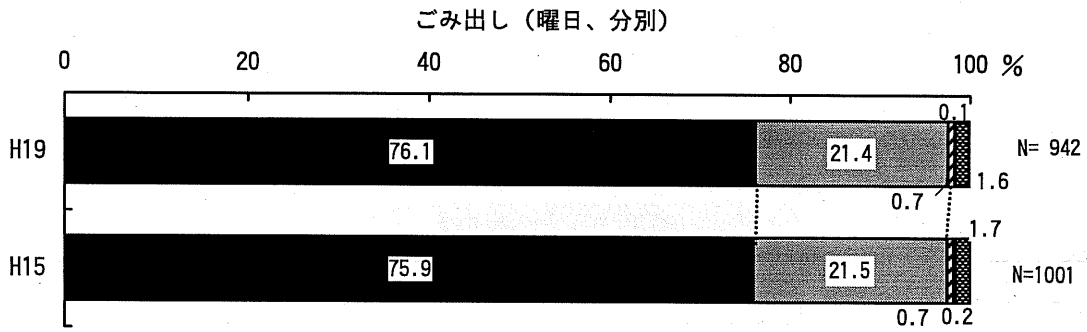
■よく見かける □時々見かける ▨あまり見かけない □ほとんど見かけない ■無回答

目標値到達まで **80.1**ポイント

	H15	H19	H21
地域で未成年の喫煙をほとんど見かけない	11.1%	19.9%	100.0%
		(→8.8ポイント増)	

問12 以下のルールを守っていますか

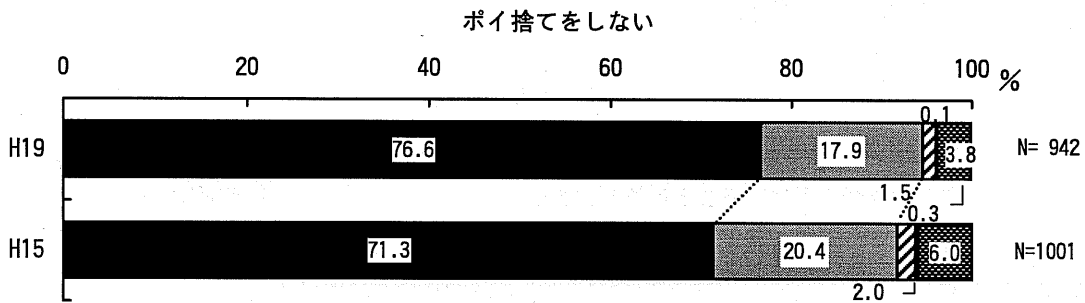
《目標1》



目標値到達まで **23.9**ポイント

ごみ出しのルールを必ず守る

	H15	H19	H21
ごみ出しのルールを必ず守る	75.9%	76.1%	100.0%
			(→0.2ポイント増)



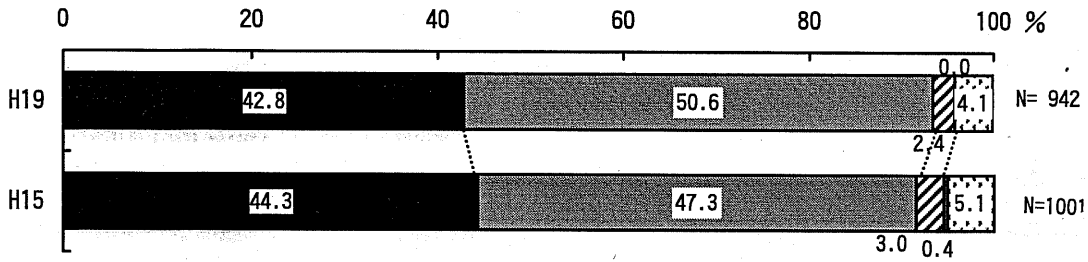
目標値到達まで **23.4**ポイント

ポイ捨てをしないというルールを必ず守る

	H15	H19	H21
ポイ捨てをしないというルールを必ず守る	71.3%	76.6%	100.0%
			(→5.3ポイント増)

《目標1》

公共の乗り物でのマナー（優先席への譲り合いなど）

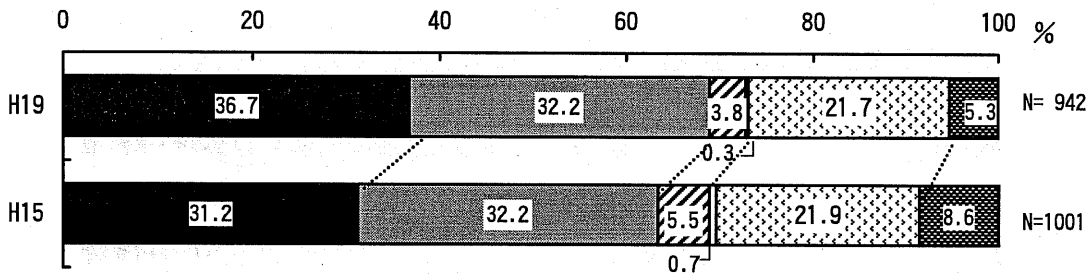


目標値到達まで **57.2**ポイント

公共の乗り物でのマナーを必ず守る

	H15	H19	H21
公共の乗り物でのマナーを必ず守る	44.3%	42.8%	100.0%
			(→1.5ポイント減)

駐車・駐輪



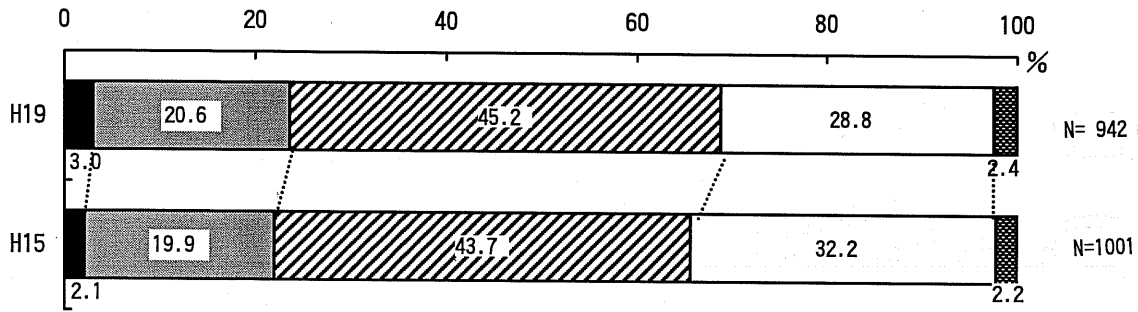
■必ず守る ■守る □あまり守らない □守らない □どちらも利用していない ■無回答

目標値到達まで **1.1**ポイント

駐輪・駐車ルールを守る

	H15	H19	H21
駐輪・駐車ルールを守る	63.4%	68.9%	70.0%
			(→5.5ポイント増)

問13 ルールを守らない人を見かけたときに注意をすることができますか <<目標1>>

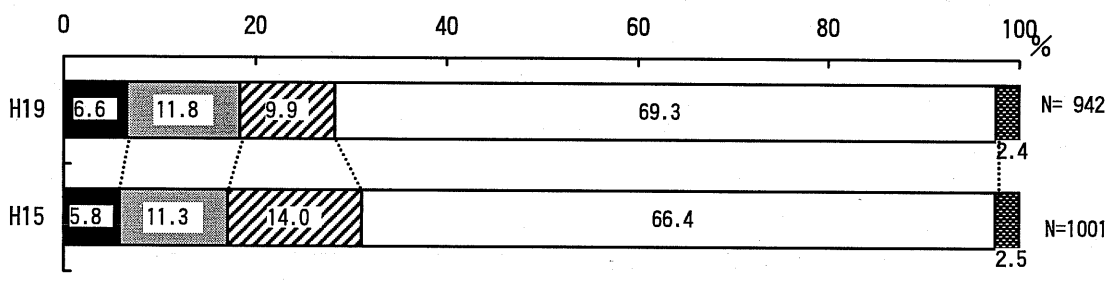


■いつでもできる □ときどきできる ▨あまりできない □できない ■無回答

目標値到達まで **11.4ポイント**

	H15	H19	H21
ルールを守らない人を見かけたときに注意することができる	22.0%	23.6%	35.0%
			(→1.6ポイント増)

問14 ここ2~3年の間で、障害者(児)の方と共に活動を行う機会がありましたか <<目標3>>

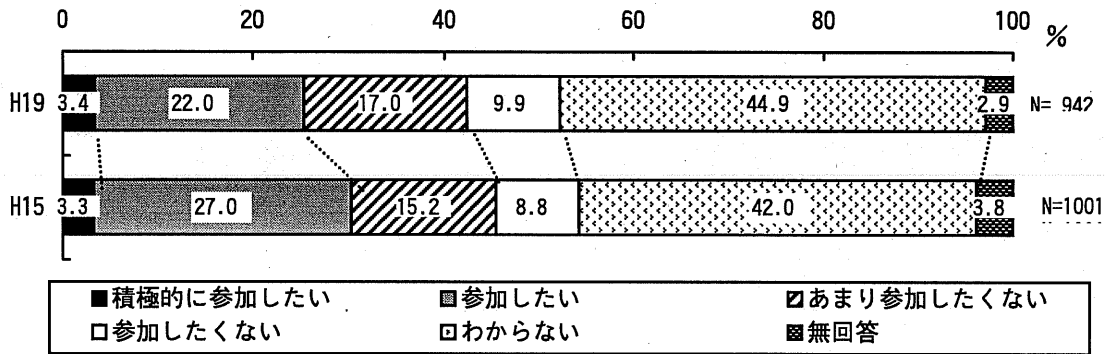


■たくさんあった □少しあった ▨あまりなかった □なかった ■無回答

目標値到達まで **11.6ポイント**

	H15	H19	H21
障害者(児)と共に活動を行う機会があった	17.1%	18.4%	30.0%
			(→1.3ポイント増)

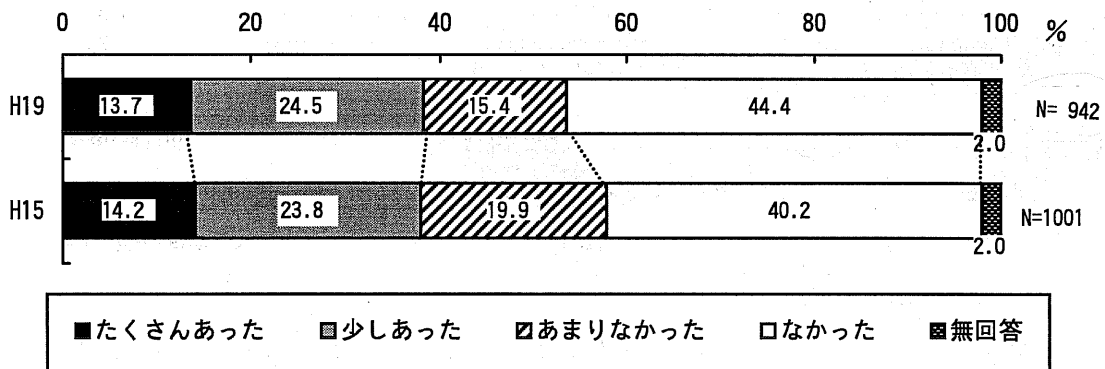
問15 あなたは今後、お住まいの地域の中で障害者（児）の方と共に活動する機会があれば参加したいと思いますか <目標3>



目標値到達まで **24.6**ポイント

	H15	H19	H21
障害者(児)と共に活動する機会があれば参加したい	30.3%	25.4%	50.0%
		(→4.9ポイント減)	

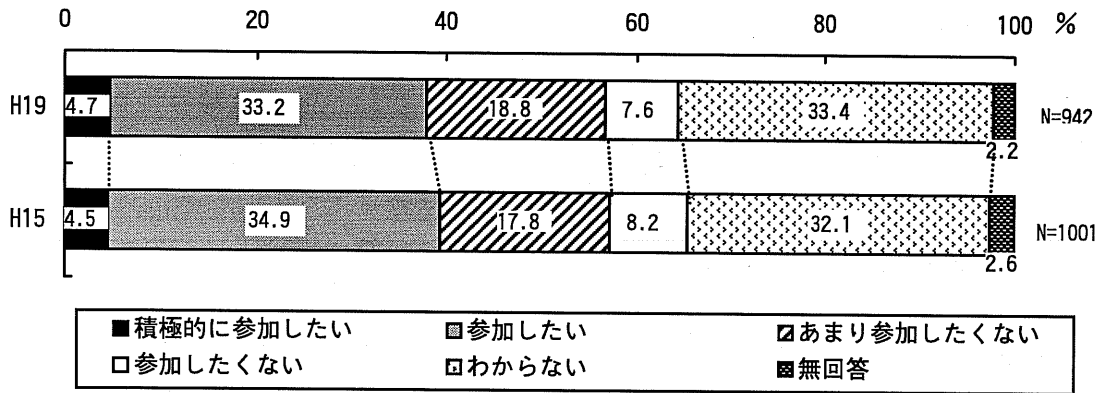
問16 ここ2～3年の間で、家族以外で自分の世代とは違った方と共に活動する機会がありましたか <目標2>



目標値到達まで **31.8**ポイント

	H15	H19	H21
家族以外で自分の世代とは違った人と共に活動する機会があった	38.0%	38.2%	70.0%
		(→0.2ポイント増)	

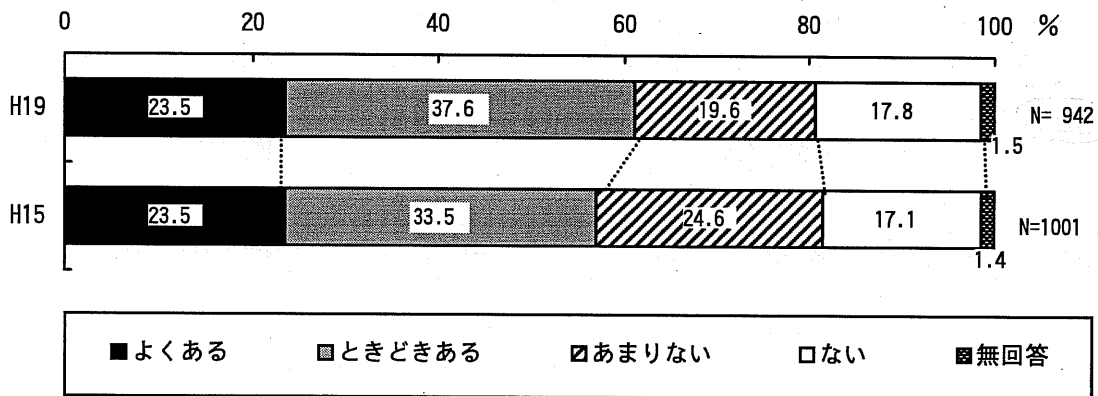
問17 今後、地域の中で自分の世代とは違った方と共に活動する機会があれば、参加したいと思いませんか <<目標2>>



目標値到達まで 22.1ポイント

	H15	H19	H21
自分の世代とは違った人と共に活動する機会があれば参加したい	39.4%	37.9%	60.0%
	(→1.5ポイント減)		

問18 近隣の子ども（中学生以下）に挨拶など、声をかけることがありますか <<目標5>>

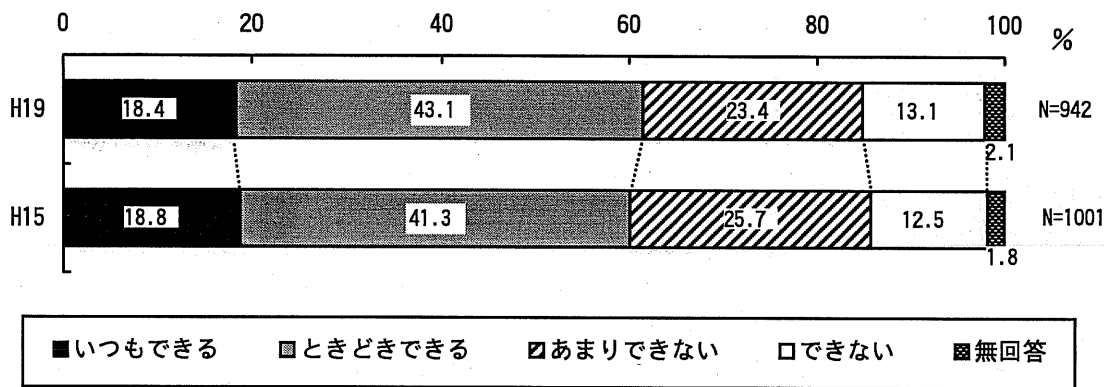


目標値到達まで 28.9ポイント

	H15	H19	H21
近隣の子どもにあいさつなどの声をかけることがある	57.0%	61.1%	90.0%
	(→4.1ポイント増)		

問19 近隣の子ども（中学生以下）に注意をすることができますか

<<目標5>>

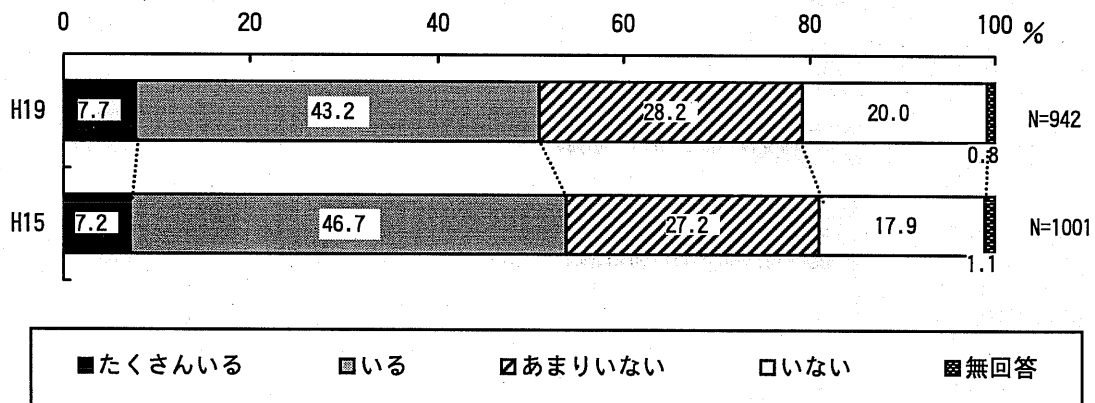


目標値到達まで 28.5ポイント

	H15	H19	H21
近隣の子どもに注意することができる	60.1%	61.5%	90.0%
			(→1.4ポイント増)

問20 困ったことがあった場合に助けてくれる近隣の人や近くの友人がいますか

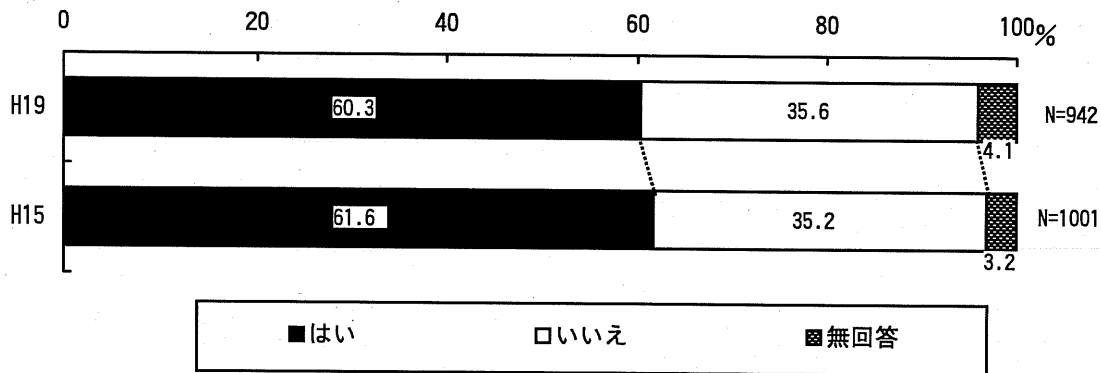
<<目標3>>



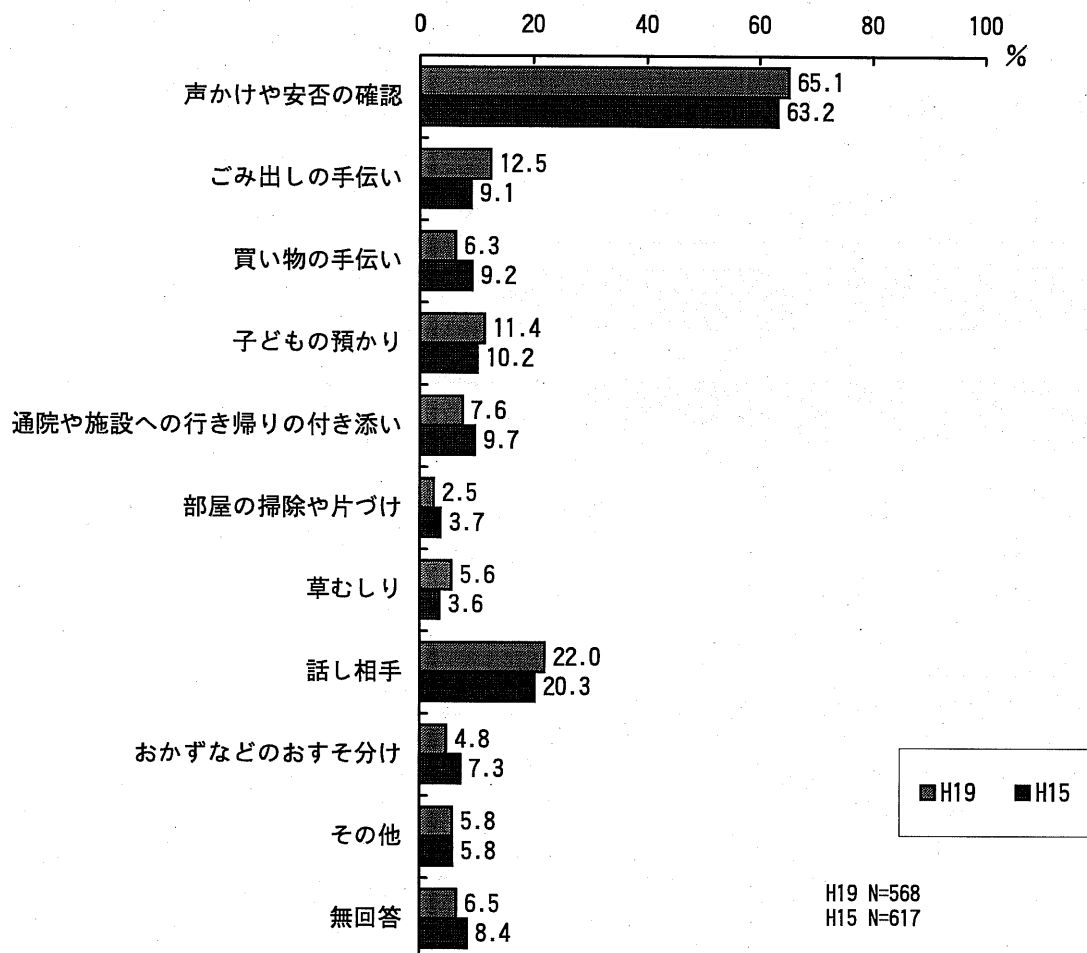
目標値到達まで 29.1ポイント

	H15	H19	H21
困ったことがあった場合に助けてくれる近隣の人や近くの友人がいる	53.9%	50.9%	80.0%
			(→3.0ポイント減)

問21 困ったことがあった時に、近隣の方に助けてもらいたいですか

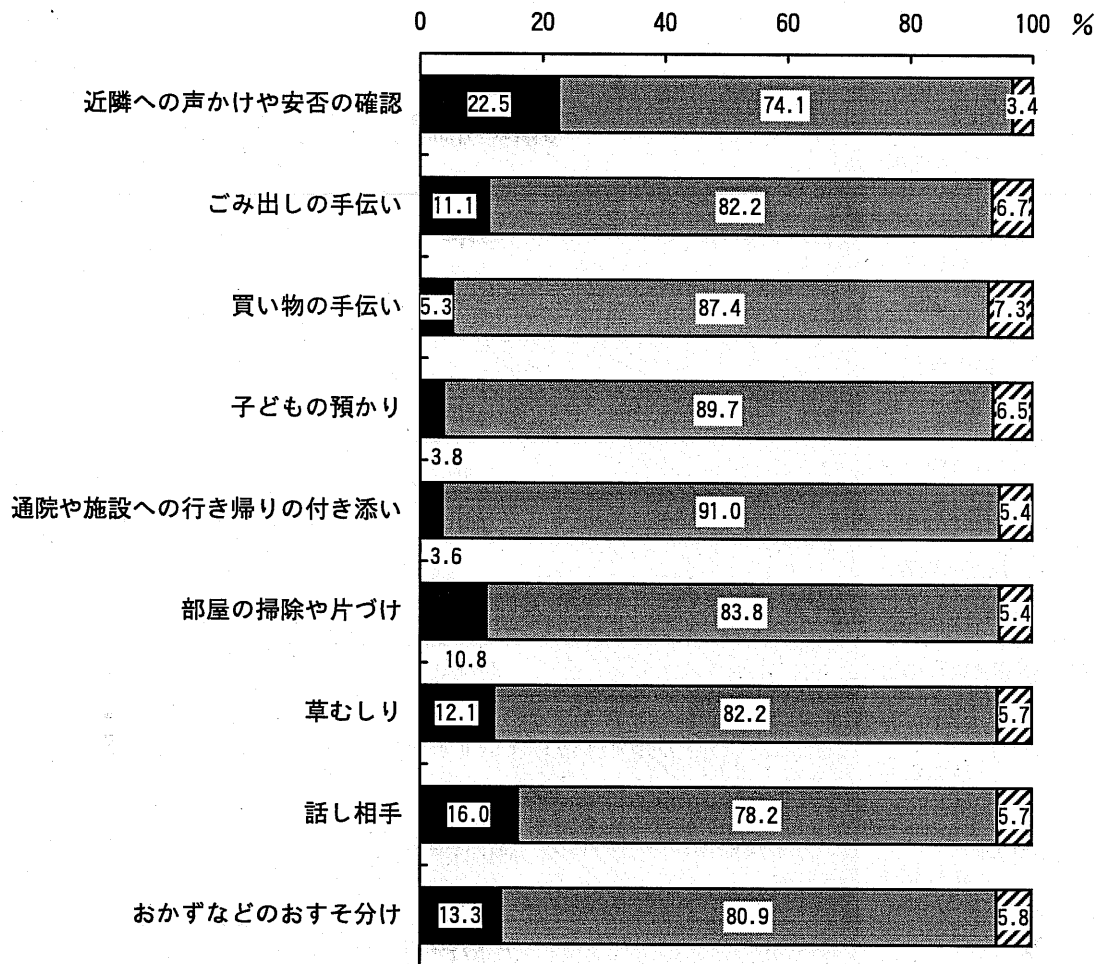


問21 (1) 近隣の方に助けてもらいたいこと (複数回答)

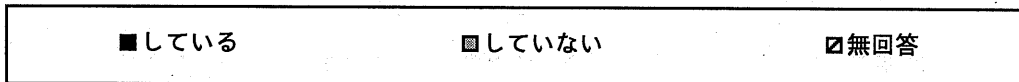


問22 近隣との関係のなかで、ちょっと困っている人がいた場合に、あなたが頼まれて行っていることはありますか。

(H19年度)



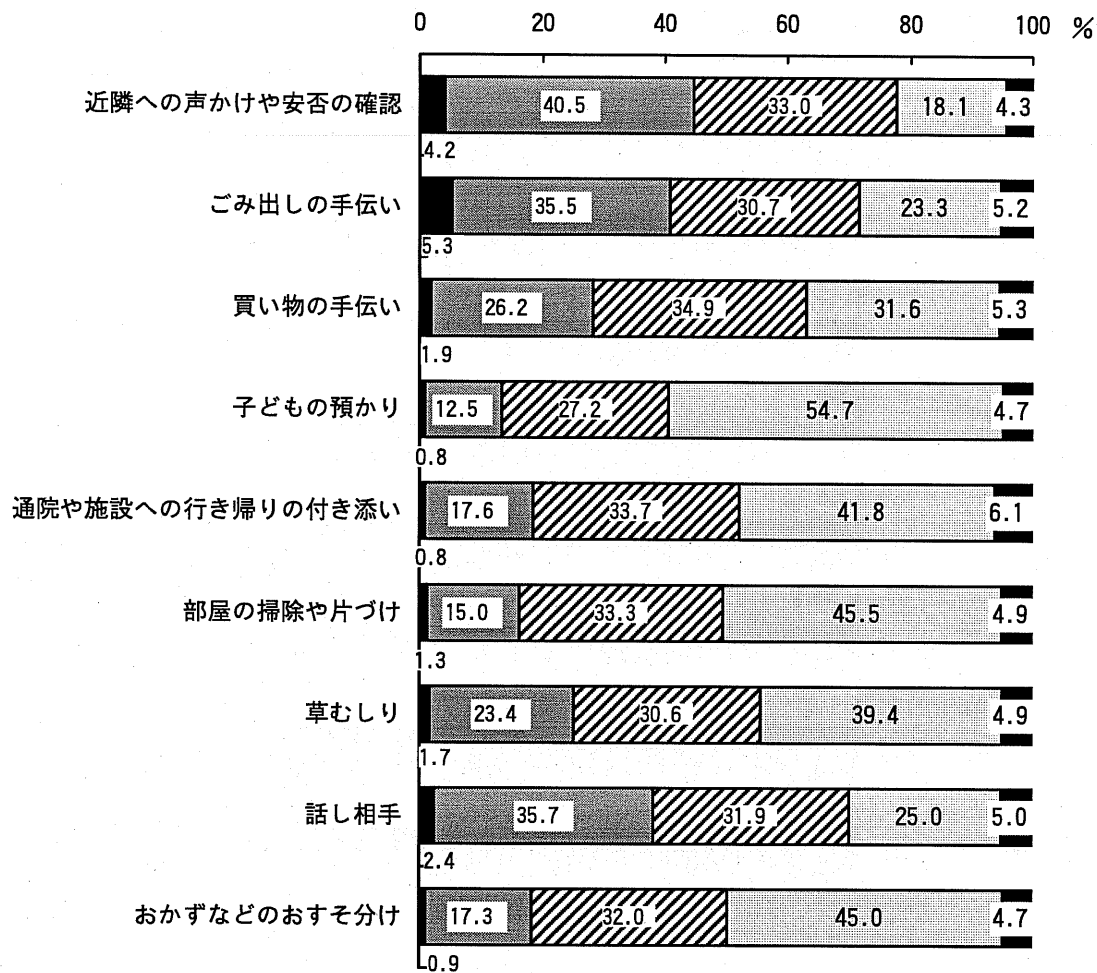
N=942



[問22で「していない」と回答した人のみ]

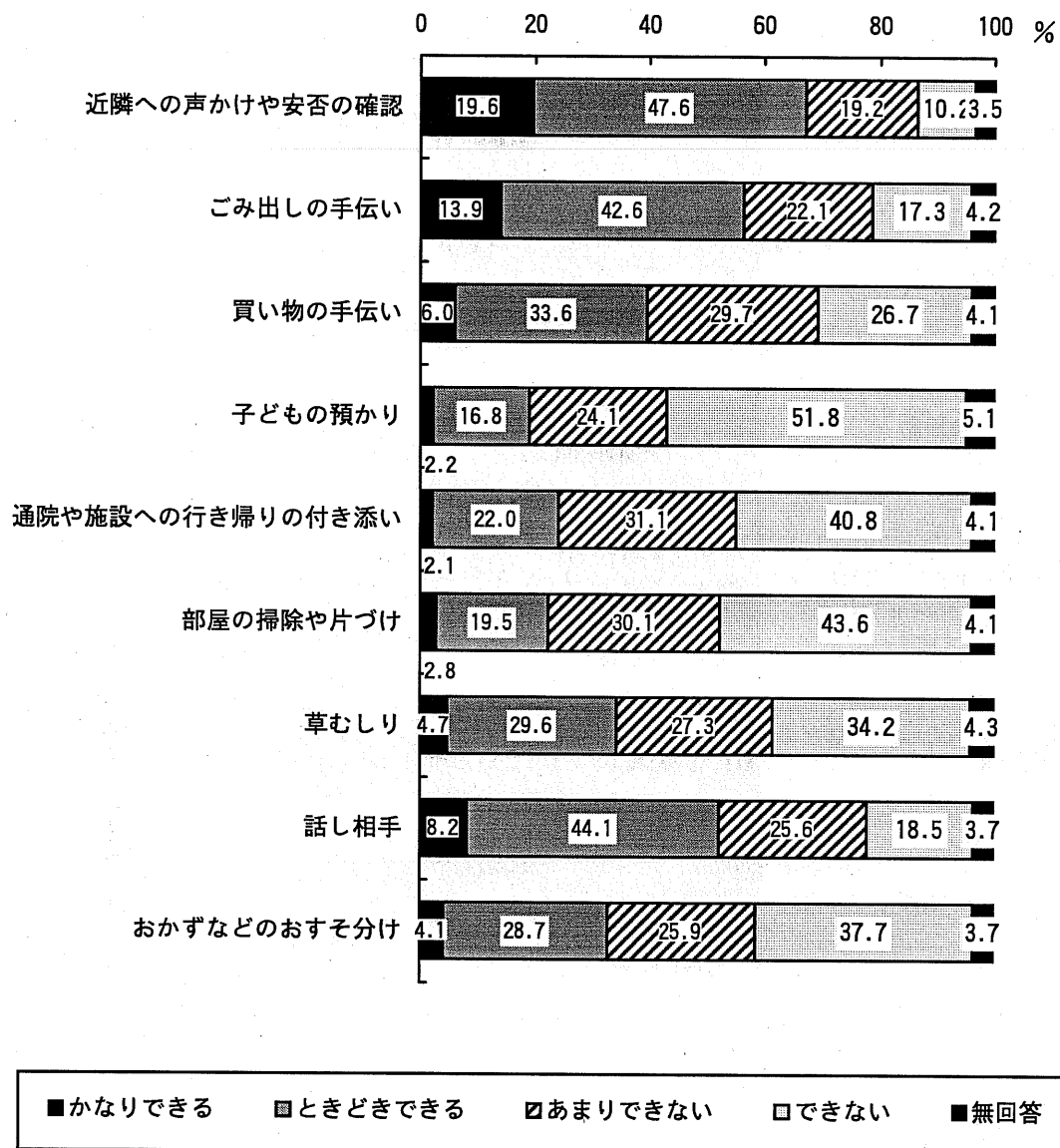
問22付問 行っていない場合、今後「できること」はありますか。それぞれについてお答えください。

(H19年度)

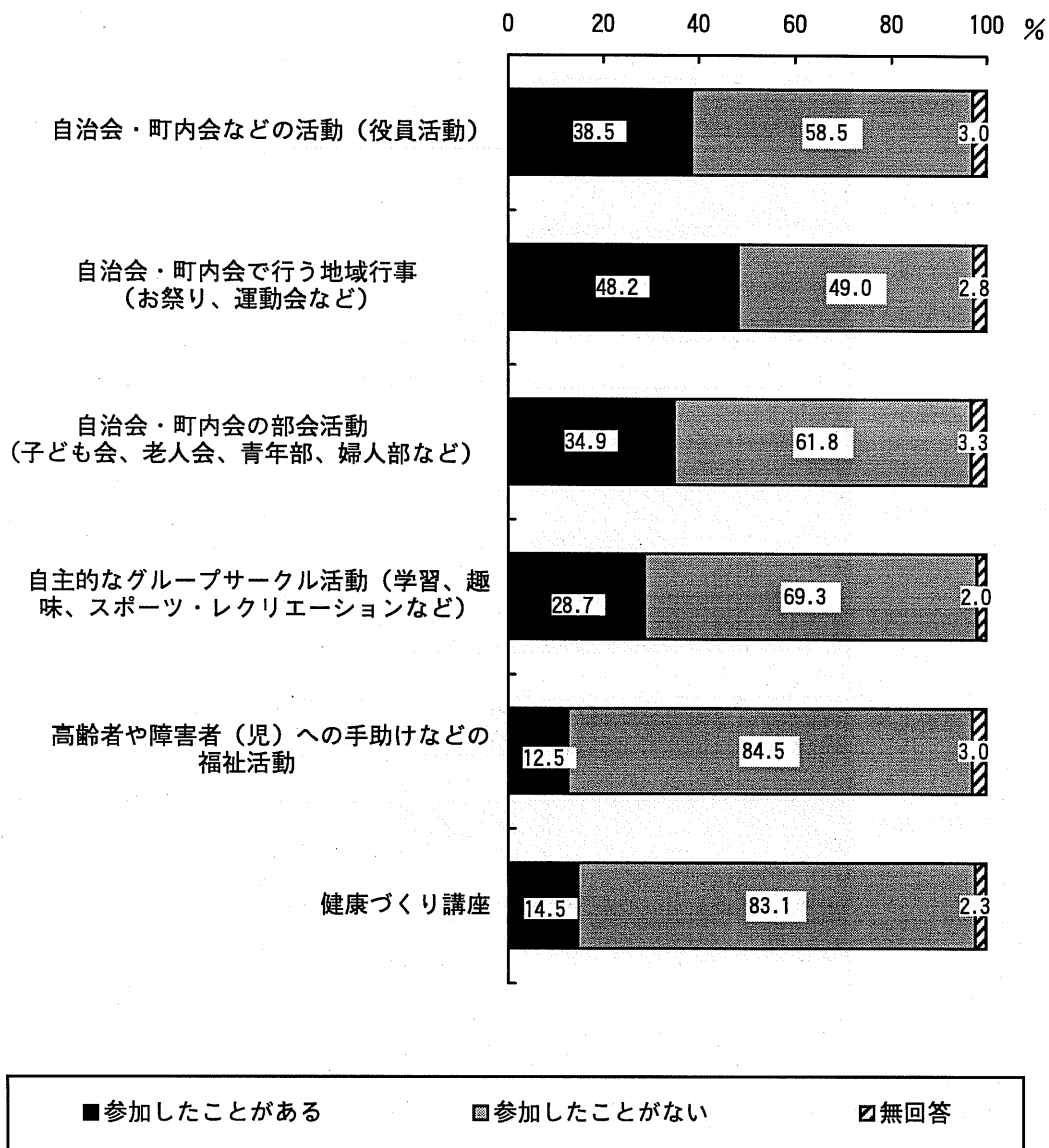


■かなりできる □ときどきできる ▨あまりできない □できない ■無回答

問22 近隣との関係のなかで、困っている人がいた場合に、頼まれて「できること」はありますか
(H15年度)

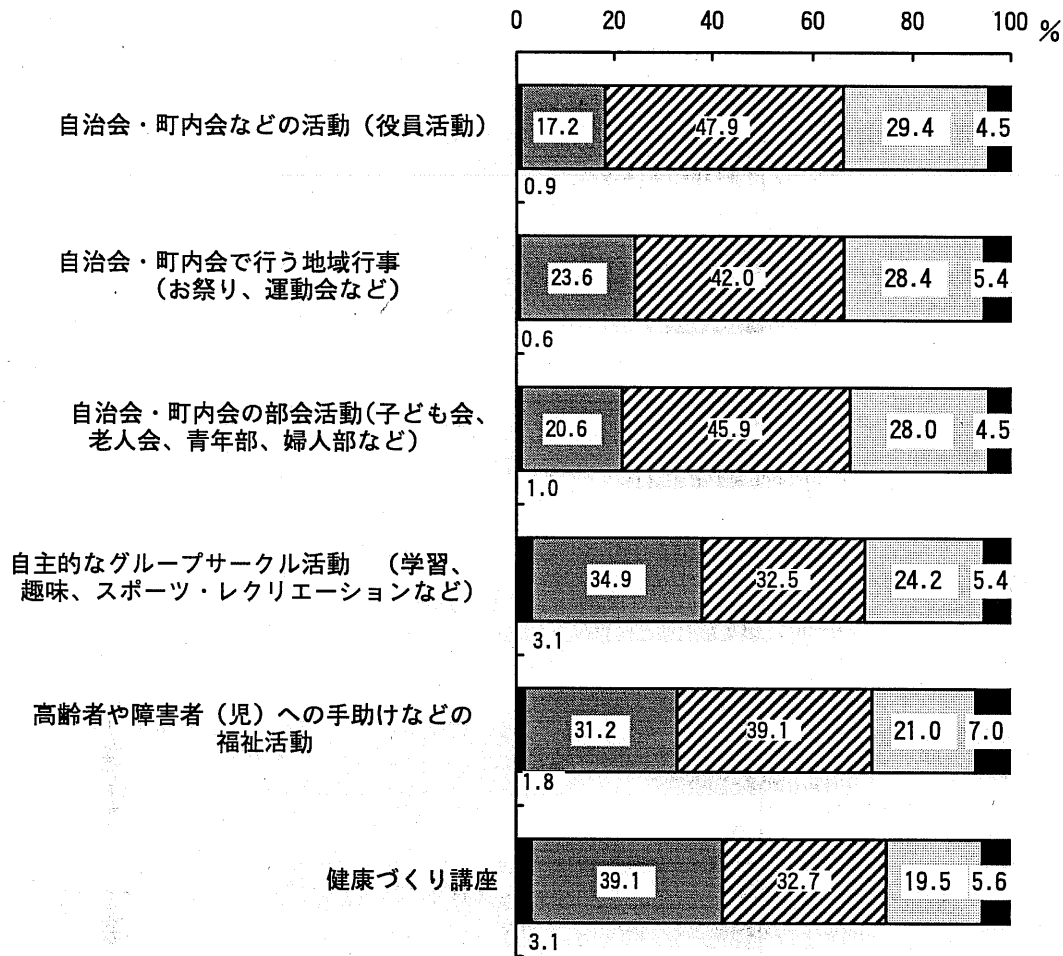


問23 あなたはこれまで、お住まいの地域で行われている以下の活動に参加したことがありますか
(H19年度)



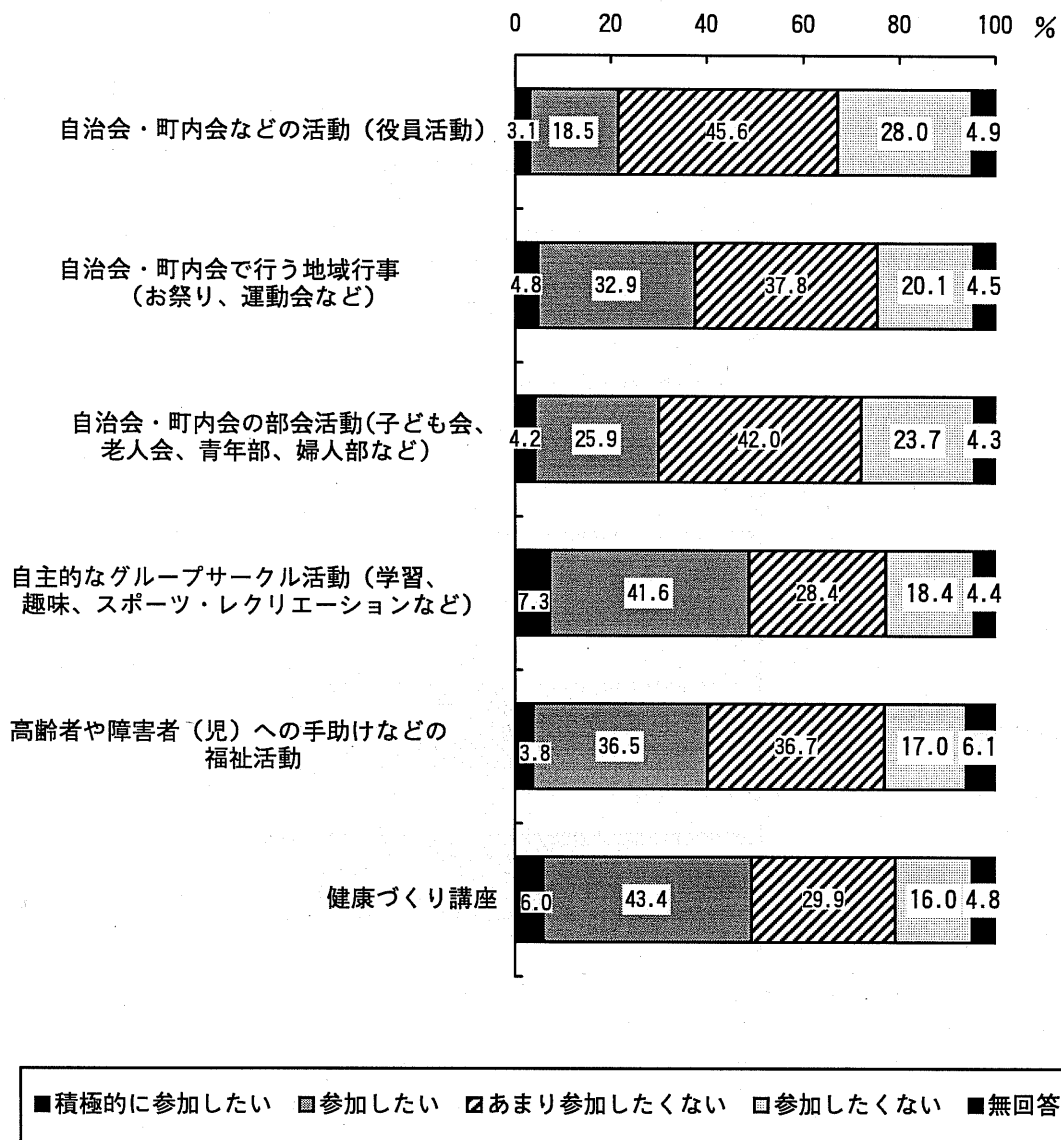
[問23で「参加したことがない」と回答した人のみ]

問23付問 これまで参加したことがない方は、今後機会があれば、参加したいと思いますか
(H19年度)

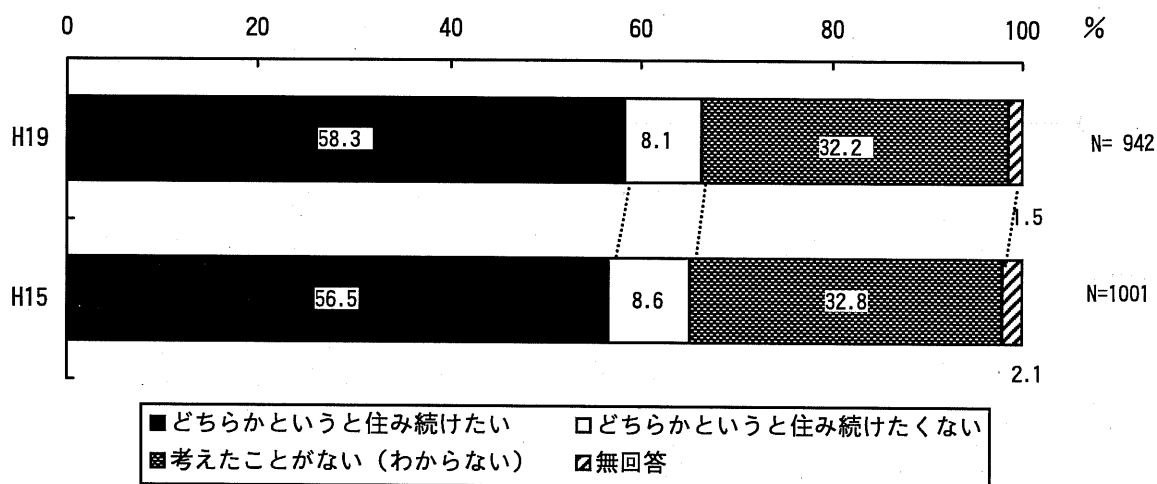


■ 積極的に参加したい □ 参加したい ▨ あまり参加したくない □ 参加したくない ■ 無回答

問23 今後、機会があれば、地域で行われている以下の活動に参加したいですか
(H15年度)



問24 あなたは今後も（高齢になっても、支援が必要になっても）西区に住み続けたいと思っていますか



目標値到達まで 31.7ポイント

	H15	H19	H21
今後も西区に住み続けたい	56.5%	58.3%	90.0%
	(→1.8ポイント増)		

困っている人を支える関係づくりのアイデア(自由記載)

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
1	アイデア	町内の助け合い	まず隣の人が注意して見る。困っている分野で町内で得意としている人に相談をする。例えば電気関係、力仕事、達筆の人、料理のうまい人等があると思います。町内の人は家族に時間的余裕がある場合には、なるべく参加をすることを周知してもらう。
2	アイデア	場づくり	小さい子どもから高齢者まで、みんながいつでも集える場所(自由に出入り可能で明るく入りやすい)。そうすれば、話し相手や手助けができ、気軽に地域の人と知り合える。
3	アイデア	町内の助け合い	私は現在78歳、元気でもっと年上の方のごみ出しを手伝っておりますが、これからもっと高齢になった場合、ゴミ出し場所が急坂の上なので、いつまで出しに行かれるか不安になることがあります。小学校の高学年や中学・高校などの生徒さんに、登校前にごみ出しの手伝いなどをしていただけるよう学校などで指導して下さると、思いやりの心も育つのではないかと思います。
4	アイデア	連絡体制	どんなことに困っているかが、まずわからないので、掲示板などに“こんなことを手伝ってほしい”と張り出してくれると、自分のできることを見つけて、そこに手伝いに行けると思います。そんな連絡ができる場所があるといいです。
5	アイデア	情報収集	町内会ごとなど、目安箱のようなものを作成し、困っている人がいたら皆で話し合い、手助けしていければ良いと思う。
6	アイデア	町内の助け合い	マンションに住んでいるので、周りの困っている人々との接点がありません。できれば高齢者の方を助けてあげたい。そういうチラシ等をランダムに送ってみればいかがでしょうか。
7	アイデア	連絡体制	インターネット掲示板での情報交換(地区ごと)。
8	アイデア	場づくり	普段からの付き合いが必要であるが、生活パターンが多様化しているため、会うことすら難しい時がある。自由参加のイベントを開催しても、社交的な人のみ参加し、生活に困っている人は参加しない。よって半ば参加を強制させる町内清掃などを実施して、閉じこもっている人を外に出す工夫をする。または地域商店街を活性化し、地域コミュニティの中核として、多くの人がふれ合う環境づくりをする。
9	アイデア	連絡体制	頼まれれば動けるが、自らは誰にどの程度、何をしてあげればいいのかかわからない。民生委員等がサービスを受けたい人とボランティアの橋渡しをして下さるといい。実際、親の介護をしていて、仕事に出る際、部屋の温度調整や水分補給など頼めたらいいのに、と思う。
10	アイデア	情報収集	困っていることを書いて入れる投書箱みたいなものを設置する。
11	アイデア	町内の助け合い	やはり遠い親類より近くの他人です。声かけや防犯パトロールなど大事なことだと思います。自治会役員の人には負担がだいぶかかっていると思いますので、ボランティアを募るとか(お食事ボランティア、お買い物ボランティア、お片付けボランティア、おつきあいボランティア)。
12	アイデア	ボランティア活動	福祉活動に参加したい人が自らエントリーし(ジャンル別に)、区が福祉を受けたい人を紹介する。具体的には、インターネット等から連絡先や手助けできる内容を登録し、区が手助けしてほしい人の情報を提供。手助けしてほしい内容を登録者に伝える。登録者が内容を確認し、無理なくできる判断をし、合意すれば区が登録者と受けたい人双方に連絡を取り、仲介する。詳細な連絡先を伝えるとともに、可能な限り立ち会う。

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
13	アイデア	ボランティア活動	ホームページに自分にできることコーナーを設ければ良いのでは？私は車で活動できますし、日程が合えば、いろいろとできることがあると思います。
14	アイデア	実態把握	困っている人がわからない。自己申告できる「お困り箱」の設置（共通意識を持てる設置方法を工夫）。自己申告者と行政がよくコミュニケーションをとる。困っている人の情報や支える方法を、近隣に差し支えない程度で公開する。
15	アイデア	実態把握	マンションに住んでいるのですが、上下階、左右の部屋の方達との付き合いが薄く、挨拶をするくらいです。本当に特定の人（子どものママ友など）としか付き合いがないので、まずはそこからの付き合いができるようになってきたらと思います。伝言板などを活用し、子どもを預かってもらえる、預かってあげるなど、困っていることが自由に貼り出され、それに答えられる人が連絡する。町内会でも誰が町内会の人なのかかわからないので、何とか連絡・相談ができるようなできたらと思います（相談役を決めるとか）。個人情報保護法などで難しいとは思いますが。
16	アイデア	場づくり	町内に1軒、誰でもいつでも行ける喫茶店があったらいいな。交代で店番などして。
17	アイデア	ボランティア活動	1.地域のコミュニティを活性化する。 2.活動貯金（実動行為を貯めておき、後で他の人から受ける権利）。
18	アイデア	ボランティア活動	お年寄りのゴミ捨てくらいであれば、いつでもできます。ただ現状ではどの方が困っているのが見えにくい。コミュニティハウスなどの地域に開かれた場所にボランティアサークルを作り、誰でも気軽に空いている時に活動できるようにしたら良い。また、どんな人がどのようなことで助けがほしいのか、明示する掲示板とそれに対応できるボランティア会員が多くいれば良いと思う。
19	アイデア	連絡体制	個人情報保護法の誤った解釈により、緊急連絡の場合の名簿作りもままならない状況は、考える問題だと思われます。近隣で困っている人がいる等の情報が載せられるようなタウン紙（町内情報紙）のようなものを発行する。民生委員のみでなく、よろず相談（日替わりで相談内容を決めて、健康、生活、法律等ができるシステム作りを数町内単位です）。
20	アイデア	ボランティア活動	どこかの自治体で実施していたかと思いますが、その自治体のみで通用する通貨のようなもので、ボランティアされた人がしてくれた人に払う、などの仕組みがあれば、きっかけにはなるのではないのでしょうか。
21	アイデア	連絡体制	「困っている」の「見える化」をしてみてもは。昨今は近隣でも付き合いがない傾向が強い。何を困っているかが他人にはわかりにくい（見えない）。そこで積極的に「困っている」ことを見える化する。旗などマークを出すことで、サポートを得る方法は如何か。
22	アイデア	町内の助け合い	5人組などのグループにおける活動をしていけば、支えるつながりになるのかもしれませんが。
23	アイデア	連絡体制	区の広報や回覧板に、掲示板などに、困っている人と困っている内容を書いた「お困りカード」を掲載し、1件ごとに助けられる「お助けマン」を募集してはどうでしょうか？もちろん困っている人は匿名で、お助けマンとして協力できる人だけに困っている人の情報を教えれば良いと思います。

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
24	アイデア	ボランティア活動	①高齢者のサポート（ゴミ捨てなど身の回りのこと、昔話など交流） ②障害者（児）（一時預かり、一緒に外出、散歩etc.） ③子ども（乳幼児）（一時預かり、親子サークルetc.） →近隣の大学や学校にボランティア募集の声をかけてみる。 →困っている人がどこへ行けば情報を得られるか、まだまだ行き渡っていない。窓口（役所等）があることをしっかり伝えていく（回覧等）
25	アイデア	町内の助け合い	個人情報保護法でひとり暮らしの世帯の把握が難しいと聞いています。高齢者世帯のmapでもできると、町内でも声かけや安否の確認等しやすくなるのではないかと感じています。
26	アイデア	町内の助け合い	まず町会単位でひとり暮らしや老夫婦世帯へ、何に困っているか、何を手伝ってほしいか、の調査をして、近所で手伝えることか、ヘルパーさんをお願いするか判断が必要だと思います。近所の人への遠慮もあるかもしれないし、ヘルパーさんに関しては手続きがわからなかったり、区役所まで行けなかったりする人が多いと思います。周りで手伝えることがあれば、時間にゆとりのある人や、シルバー世代で元気な人に助けてもらう。それを負担に感じず、お互い様なんだと思える意識を持つことも必要です。私は地方出身なので、田舎ではおすそ分けをして、
27	アイデア	啓発、人材バンク 安否確認等	・メディアを使った啓蒙活動（「あなたのそばにあなたを必要としている人がいる」等、30秒コマーシャル）。 ・人材バンク登録（小学生、中学生、高校生）。 ・ゴミ袋のデザイン（汚いものの印象→感謝の印象に変える）。 ・宅配（買い物リスト事前提出）時に安否確認。 ・健康（食事と運動をセットで行う企画）。
28	アイデア	HPの活用	西区のHPで掲示板を使ってはどうか。〇〇はいりませんか？のりサイクルコーナーや、〇〇の人はいませんか？の病気の人同士の仲間集めコーナーなど、そして事後情報はまとめてどこかHPに載せてほしい。
29	アイデア	町内の助け合い	まずは近隣で誰が困っているかを知ることが大切なこと。それには、2・3ないし4・5人くらいのグループを作り、お互いいつでも話し合いができ、困っている人の情報を得て、それらの人を支えるような、いわば隣組みたいな組織を作る。
30	アイデア	連絡体制	・困った時に近くで必ず連絡できる人がいること。電話すれば、まず聞いてくれて、どうしたらいいか考えてくれて、解決してくれる。このシステムがあるとすごく安心だと思う。 ・週1回でも必ず様子を見に来てくれる人がいる。
31	アイデア	情報収集	目安箱のようなものを設ける。日常的なクレーム（要望）を積極的に出し合うことで、近隣関係を良くする。個人的には近隣にある猫屋敷（不衛生）に悩まされており、その猫が家の戸の前で死んでいる時は苦労した。
32	アイデア	場づくり	助け合いは大切だと思うが、「お節介」と受け取る人が多い気がするので、なかなか難しい問題だと思います。町内会館などでお話したり、交流ができる場所ができれば良いと思います。コミュニティセンターみたいなものは西区にはあるのでしょうか？仕事が忙しくてなかなか時間はありませんが、今回のアンケートで、いろいろ考えてみようと思います。
33	アイデア	ボランティア活動	交番以外で、ボランティアでパトロールをしてはどうかと思います。
34	アイデア	場づくり	・まずは挨拶から ・気軽に入れる安いティールームを作る

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
35	アイデア	場づくり	朝のラジオ体操への参加によって、近隣の方々の顔と名前を知ることができます。
36	アイデア		回覧板を必ず手渡しする！
37	アイデア	HPの活用	インターネットで情報共有可能なHPを活用。その際、HPについての宣伝をしっかり行い、みんなに利用されるHPにすること。利用することがメリットになりうる内容とすることが大切。HPがあっても、その存在もわからず、利用されなければ全く意味がない。
38	アイデア 要望	情報収集 警察官の巡回	ますます高齢化になると、一人住まいの方など困っている人々が増加すると思う。町内会等を活用して情報を収集し、困ったことが生じた場合、どのようにしたら良いか区民へPRできるシステムを確立したら良いと思います。 昔はお巡りさんが各戸へ顔を出して、住民と密接な良いつながりがあった。もう少しお巡りさんが住民とつながりを持つこともこれからは必要ではないか。防犯にもなる。
39	意見	支援組織	NPO法人を作る。
40	意見	支援組織	支援のグループをまず組織する。
41	意見	ボランティア活動	仕事が県外なので、ほとんど区内にいません。動きやすい女性・リタイアの人達の力がもっと活かせればと思います。ちょっと困った時に電話をすると、手の貸せる近くの人を探してくれて、すぐ来てもらえるとか。
42	意見	ボランティア活動	ボランティアグループを結成して、活動するよう働きかけたら良いかと。
43	意見	ボランティア活動	組織的にボランティアをしていかなければ、昔のような近所づきあいは無理だと思う。
44	意見	相談場所	親切に対応してくれる相談センターがあれば、と思う（何でも安心センター）。
45	意見	場づくり	近場の公共施設で定期的なイベント等あれば良いかと。
46	意見	町内の助け合い	ひとり暮らし高齢者の見守りをやっております。これからもこうしたふれあい活動をやってほしいと思います。近隣の方の悩み事など話し相手になってやること。
47	意見	場づくり	私の町内会では老人会が何の活動もしていない。西区は老人が多いのだから、もっと老人仲間ができるような、老人の集いがあると良いのではないかと思う。
48	意見	ボランティア活動	子どもを中心としたボランティア活動。こういう活動は、良くても、悪くても、子どもの影響は大きいと思う。
49	意見	行政の役割	町内で連絡網などを作成しようとしても、個人情報だからと拒否されています。「このごろ〇〇さん見かけなくなった…」などという会話があちこちであります。死亡広告も出さない家も増えて、いつの間にか老人が減っていくという現状です。 老老介護に違いないと思われるお宅があっても（助けてあげたくても）、上記のような理由で門戸を閉ざされる。行政でこそ、良いアイデアを出してください。

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
50	意見	町内の助け合い	どういう困った状況の人がいるのか、事態を把握していないので全く想像がつかない。 健康診断の対象年齢の引き上げ等、あまり福祉保健計画が実施されているという実感が無い（改善という方向で）。 ただし、今回のアンケートで「町内」というか、ある種のコミュニティが何らかの連携を必要としていることは認識した。
51	意見	配慮	人付き合いの嫌いな人も多いので、そういった人への配慮も必要だと思う。
52	意見	アンケートについて	「困っている」と言ってくれないとわからない。困っている内容が具体的にわかれば、時と場合によっては力をお貸しすることもできるでしょう。自分がそうなった時には、近所の人に多分言うでしょう（もう何年もおつきあいしていますので）。要は本人が相手と親しくしていきたいか、どうかということです。 このアンケートの結果はいつわかるのでしょうか。知らせていただけるのでしょうか。「西区地域福祉保健計画」推進のために役に立つのでしょうか？
53	意見・要望	行政の役割	みなとみらい地区ではマンション自治会が中心です。今後居住者が増えるので、西区としての組織づくり。
54	意見・要望	行政の役割	生活苦の人が相談すると、アドバイスしてくれる地区ごとの課があると良いかもしれません。
55	課題	町内会組織について	各地域における民生委員の高齢化や、町内会でも高齢化に推移しており、困っている人はその家族や周りの人達であり、そのこと（高齢）に気付いていない本人が、最も問題なこと。
56	課題	場づくり	私どもの自治会は老人会、ふれあい会があり、共に充実しております。民生委員の方も毎月2回、必ず声かけ訪問して下さっています。老人も多いのですが、特に男の方は外出されず、会にも来ていません。男性の方が喜んで集まれるようなアイデアがほしいですね。
57	課題	実態把握	情報公開の問題もあるのか、近所の実態がわからないので、今の自分の体力で手助けできることの有無もわかりません。ゴミ捨てなどで一緒に出しておきますと言って持ってあげることもありますが、その方にはかえって迷惑なのではないかと考えることもあります。「何歳くらいの方が何人」と地域の住民の大まかな情報があれば、心構えもできると思います。
58	課題	情報提供	強引なセールスがよく訪問してきます。高齢者が心配です。このような悪質なセールスマンの情報（手口）を、特にひとり暮らしの高齢者にチラシをポスティングする（周知してもらう）。
59	課題	要援護者の把握	個人情報保護の関係で、困っている方や相談したい方がいらしても連絡が取りにくく、とても難しいのですか？災害の時はそんなこと言ってもらえませんので、町内会長や役員、民生委員たちはある程度、困っている方、障害のある方を把握しておく必要があると思います。行政の方よろしく願います。
60	課題	現状把握が必要	個人情報の問題もあり、現在は近隣で誰がどのように困っているのかわからないため、何もできていません。オープンな行政で目に見える対策を実施すべきと考えます。一部の古い方のみが活動している町内会などを活用してはいかがでしょうか。 このアンケート内容そのものが役人の仕事であり、効果は期待薄です。地域活動に全職員が参加してはいかがでしょうか。
61	意見	アンケートについて	このアンケートの回答は、自分の答と合致しにくいものが多い。特に問22は「できる」ではなく「していきたい（と思う）」でなければ、答えようがない。

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
62	意見	行政の役割	西区がどう考えているのかがはっきりとわからない。区長しっかり！はっきり言って、西区の福祉保健は弱すぎる。もっと力を入れなければ。
63	意見	アンケートについて	民間は全て困っています！ こんな血税のムダ使いはやめて、自分達で必至に考えろ！！民間はこんな費用対効果の望めないことはしない！
64	意見	アンケートについて	80歳以上の人へのアンケート、少々無理があるのでは。質問事項、検討する必要があると思います。
65	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	自宅で伯母、父親を介護した時は、周りに隠さず声をかけていたので、とても助かりました。今では介護している人がいれば、声をかけたりすることができるようになり、自分にとっても幸せです。
66	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	近隣でのあいさつ、声かけ運動の推進から始めるべきだと思う。
67	支えあいに対する考え	きっかけの場づくり	平日は仕事をしているため家にいないので、近隣の方と接する機会が少ない。週末や夏休み、冬休みなどの休みに近隣でのお祭りや清掃などに参加できる場があれば、近隣の方とも顔なじみになり、困っている人を支える関係づくりになるのではないかと思う。アンケート結果をぜひ有効に役立ててください。
68	支えあいに対する考え	行政への橋渡し	行政への橋渡し。利用できるサービスとかを教えてあげる。
69	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	定期的に訪問して、直接会うことが大切だと思う。しかし、いきなり訪問はしにくいので、町内の行事の誘いなど回覧板だけでなく、直接会って連絡するなど信頼関係を作って、困っていることを聞き出せるようになって、頼みやすい関係を作らないといけないと思う。
70	支えあいに対する考え	地域の活動に参加	地域の活動に積極的に参加し、情報を得ること
71	支えあいに対する考え	助け合いの気持ち	目上の人言うことを良く聞くことですね。それと助け合い。感謝の気持ちを養うこと。礼儀を教えたい。自分のことしか考えない人が多い。迷惑を省みない。
72	支えあいに対する考え	町内会役員に相談	町内会には民生委員、役員の方がいるので、まずは連絡を取り合いたいです。
73	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	一声運動 ・おはよう、こんにちは、こんばんは ・行ってらっしゃい、お帰りなさい ・暑いですね、寒いですね ・お元気ですか、体調はどうですか 等々の挨拶を心がけております。
74	支えあいに対する考え	高齢者の話し相手になってあげたい	お年寄り（ひとり暮らし等）の家に出向き、話し相手になってあげたいという思いは、以前からありました。バスの中で話す機会が時折ありますが、少しの時間でもすごく良い笑顔に変化され、こちらも嬉しくなります（祖父母孝行ができなかった私の思いもあります）。
75	支えあいに対する考え	顔の見える関係づくり	うーん、難しいですが、まずはできることから。隣の人と会った時は挨拶を交わし（それさえも応えてくれない人もいる）、顔見知りになることからでしょうか。
76	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	まずはご挨拶から。声を交わすことから、相手が望んでいることと、こちらの一方的なお節介、自己満足に終わらないようにするにはどうしたら良いかを考えるのが、最初の一步かな。
77	支えあいに対する考え	ボランティア活動への意欲	近隣に困っている人がいるのか、いないのかも知らない現状です。今はパートをしているので時間に余裕がありませんが、2、3年したら何かボランティア活動をしたいと思っています。

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
78	支えあいに対する考え	声かけが大切	各々の意識を高く持ち、困っている人を見かけたら、積極的に声をかけるという気持ちを持ち続ける。
79	支えあいに対する考え	声かけが大切	高齢者の方には、毎日声をかけたらいいと思う。大小関係なく、人間にやさしい町になれば幸せです。寂しい人間の顔を見ることが多くなった。子どもの寂しい顔はもっと辛いです。
80	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	近隣の人と自分自身親しくしていくことだと思います。
81	支えあいに対する考え	近隣での支えあい	家事、買い物等はヘルパーが行うと思いますので、ごみ出しは朝が早いのでヘルパーが無理な日もありますから、困っている方は町内の方に相談して、隣の人をお願いしてもらおうのが良いと思います。
82	支えあいに対する考え	顔の見える関係づくり	挨拶の励行をすることで、声かけしやすい街作りとか。
83	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	知らない人同士でも挨拶ができれば、防犯性も高まり、何かあった時にでも話やすくなるのではないのでしょうか。
84	支えあいに対する考え	ネットワーク作り	「困っている人」の意味が漠然としています。マンツーマンのネットワーク作りが必要とは思いますが。
85	支えあいに対する考え	きっかけの場づくり	いろいろな活動をして交流を深める（講座や会など）。
86	支えあいに対する考え	手助けしたい	グループホームで働いているので、人の手助けをすることががどんなに大事な事かわかっているつもりですが、今は収入の面でボランティアとしては何もしてあげられないことが悔しいです。私も高齢者の仲間になる年ですので、人の手助けをしたいという気持ちは大いにあります。
87	支えあいに対する考え	手助けしたい	手を差し伸べてみる
88	支えあいに対する考え	他人の子どもにも注意	小田原で見かけた看板ですが、「うちの子を叱ってくれてありがとう」は、あった方が良くと思います。感動を覚えました。
89	支えあいに対する考え	近隣での支えあい	長い間の日常生活の積み重ねなので、特別なことと考えることはないが、できる範囲のことは近隣で支えられたらと思います。ただ、一律なサポートは人によっては望んでいないこともあるので、あくまで本人の意志によりますが、また、それが自立を妨げるものになってはいけなないので、「あ・うん」のタイミングが大切だと考えています。
90	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	なるべく近隣の方と仲良くし、回覧板を置くだけじゃなくて、話しかける（挨拶）。
91	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	日頃の挨拶は大事だと思います。周りの人と顔見知りになれば、困っているときに助けてくれるのでは？それには日頃の挨拶が大事なのではないのでしょうか。挨拶をされて嫌がる人はいないと思います。自然に挨拶ができる心のゆとりが、人を支えようと思う第一歩になるのではないのでしょうか。
92	支えあいに対する考え	コミュニケーションが大切	『支える関係づくり』には、まず、顔見知りになり挨拶ができて、はじめてコミュニケーションが取れるようになると思います。
93	支えあいに対する考え	近所づきあいが大切	家族構成、勤務地等、お互いわからないと困っていることもわからないと思います。親→子の世代へ移った時に、関係がうまく回るような近所付き合いをする機会が必要だと考えます。
94	支えあいに対する考え	声かけ、傾聴が大切	訪問介護、ボランティアです。声かけ、お話を聞くことです。
95	支えあいに対する考え	思いやりが大切	国にしても、町にしても、会社にしても、結局は全て「人」です。どんな対策を立てようと、一人一人の人格が良くなければ、良い関係はあり得ないと思います。「人」はどこで育つかといえ、まず家庭、そして地域です。「家庭」は今や崩れているところがほとんどであると思います。それは、私の周りの友達を見ていて思うのです。家庭を作っているのもまた「人」です。「人」がどんどん崩れてしまっている今、建て直すのも、また「人」であると思います。速効性のある対策などはないと考えます。自分の周りにいる人に、優しさや思いやりを伝えていく、

	分類	内容	困っている人を支える関係づくりのアイデア
96	支えあいに対する考え	声かけが大切	常に声をかけてあげること。
97	要望	ハマちゃんバス	西区は坂道が多いので、地域内でふれあいの場をしたくても、足がないので不便です。高齢になっても住みたいと思っていますが、ぜひハマちゃんバスの復活をしてください。それによって坂道の多い場所に住んでいる人は、助け合いが生まれると思います。
98	要望	町内会の加入推進	民生委員主導で行っている“独居高齢者のみまもり”の対象者に、町会未加入の人が意外に多い。より町内会の協力を得るためには、ぜひ加入してもらいたい。町会としては町会費減免の方法も考えているので、役所も積極的に加入推進に協力してほしい。
99	要望	ハマちゃんバス	ハマちゃんバスが終わってしまいましたが、お年寄り、体が不自由な人が坂を登るには大変だと思います。ハマちゃんバスに代わるものがあっていいのと思います。
100	要望	ボランティア活動の促進	60歳以上の人を対象に、地域でできることをいろいろな分野で考えて、いくつかのグループを作り、地域ごとに意見交換しながら活躍できるように。特に定年退職後の男の人にもっと社会参加を促していけるような取組を考えてください。
101	要望	警察官の巡回	昔のように警察官二人の巡回が、日常的に見られる状態にしてほしい。民間とのつながりが密になるし、違法駐車や商店前の過大な品積みがなくなり、困っている人が歩きやすくなります。説明しづらいが、助けやすい環境となります。青少年の非行防止になるし、声もかけやすい雰囲気となる。
102	要望	一人暮らし高齢者の定期訪問。緊急連絡システム化	ひとり暮らしの老人への定期的な訪問。緊急連絡が取れるシステム化を要望いたします。
103	要望	災害時の対応	密集住宅地に住んでいるので、地震が起きたときの逃げ場がない。古い住宅も多く、倒壊の危険もあり、建物の下敷きになってしまうのではないかと、地震のたびに不安になる。周辺の空き家などを壊して、いざという時に逃げられる広場として利用してほしい。きっとそのような不安を抱いているお年寄りの方がたくさん近所に住んでいるので、対策を考えてほしい。
104	要望	区長と区民の直接対話	区長は、区民が直接対話を望む時は、時間を調整していただき、それに応えていただくべきだと思います。
105	要望	ヘルパー利用	お年寄りや障害者のためのサービス（ヘルパー）を増やしてほしい。
106	要望	交番にお巡りさんを常駐	藤棚交番にお巡りさんを常駐させてください。
107	要望	有償サービス	無料ではなく有償でお互いに割り切って利用できるサービスにしてほしい。シルバー人材の活用、ボランティアはダメ。ご近所とは挨拶をしていますが、マンションが増えすぎて知らない人がいっぱいになりました。
108	要望	支援情報	健康上の理由で困っている者としては、区か地域ごとにボランティアまたは有料（実費）で、これこれのことを手伝ってもらうというような情報リストがあったら助かります。
109	要望	管理組合への助成と集会場所の提供	マンションに住んでいるとドア一枚で隔離されて見えないので、管理組合の活動に助成してほしい。管理組合が集会に使える場所の提供をお願いしたい。借りられる場所がないです。
110	要望 (要返信)	ハマちゃんバス	ハマちゃんバスの運行を再開してほしい。 ・坂道の上下で歩行が大変。 ・定期的通院の方が体力的、経済的に困窮。 ・高齢者の方の外出する気を阻害 単独採算割れによる中止となったが、西区福祉行政基幹の1つと思う。このままでは納得いかず、返信乞う。

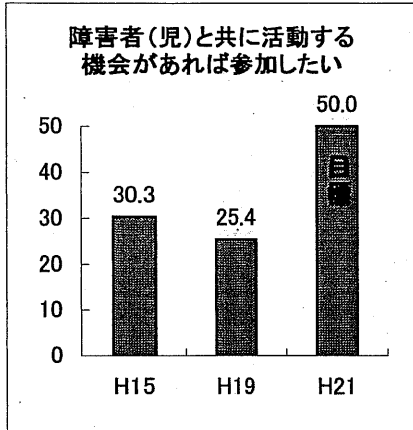
1

問 15 あなたは今後、お住まいの地域の中で障害者(児)の方と共に活動する機会があれば、参加したいと思いますか。



4. 9ポイント減!

目標値到達まで あと 24.6 ポイント



(年代別)

積極的に参加したい、参加したい割合が低かった年代は75歳以上(16.4%)、30代(23.9)、65~74歳(24.4)の順となっている。

ポイントが低かった年代はここ2~3年の間で、障害者の方と共に活動する機会が少ない傾向が見られる。

一方、40代は活動を共にする機会は少なかったが、参加への意欲が高いことがわかった。

(地区別)

ポイントが高い順①第三地区(27.1%)②第一地区・第二地区(26.3)③第六地区(26.2)④第五地区(24.4)⑤第四地区(23.6)

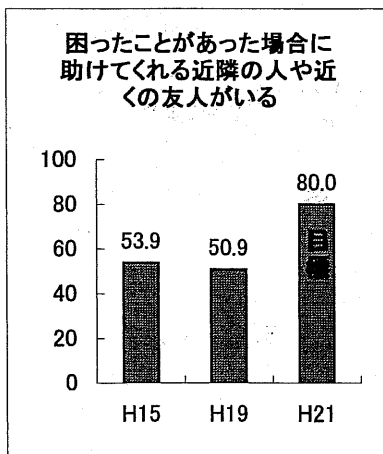
2

問 20 あなたはちょっと困ったことがあった場合に助けてくれる近隣の人や近くの友人がいますか。



3. 0ポイント減!

目標値到達まで あと 29.1 ポイント



(年代別)

年代が高くなるにつれ、助けてくれる近隣の人がいると回答した割合が高くなり、65~74歳(61.3%)をピークに75歳以上(54.5%)では低くなっている。

(居住年数)

居住年数が長くなると、助けてくれる人があると回答した割合が高くなる傾向が見られた。

地区別では居住年数が3~10年未満と短い世帯の多い第五地区が最もポイントが低かった。

ポイントが高い順 ①第三地区(59.7%) ②第四地区(56.9) ③第六地区(51.4) ④第二地区(50.5) ⑤第一地区(49.5) ⑥第五地区(40.0)

3

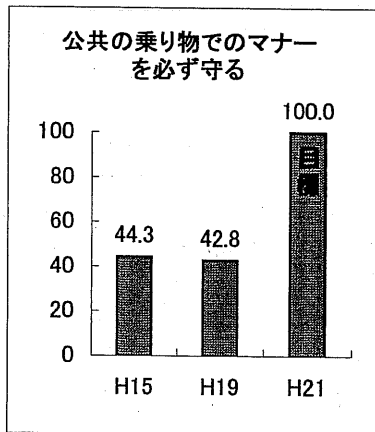
問 12 公共の乗り物でのマナー（優先席への譲り合いなど）を守っていますか。

公共の乗り物



1.5ポイント減!

目標値到達まで あと **57.2** ポイント



(年代別)

10・20代が最もポイントが低く(38.8%)、年齢が高くなるにつれ、ポイントが上がっていく傾向が見られた。50～64歳でポイントが下がった。

ポイントが高い順 ①65～74歳、75歳～(46.3%) ②40代(42.7%) ③50～64歳(41.4) ④30代(40.4) ⑤10・20代(38.8)

公共の乗り物でのマナーはごみ出し、ポイ捨てなどのルールと比較するとポイントが全体的に低い。

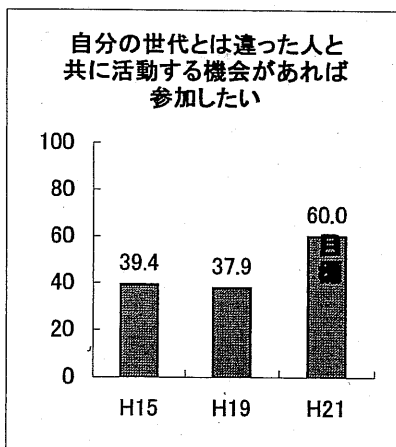
3

問 17 あなたは今後、お住まいの地域の中で、自分の世代とは違った方と共に活動する機会(年長者の方から生活の知恵や昔の話を聞く、または自分が伝えるなど)があれば、参加したいと思いませんか。



1.5ポイント減!

目標値到達まで あと **22.1** ポイント



(年代別)

ここ2～3年の間で、世代の異なる方と共に活動する機会があった割合と比較すると、

機会があった①40代(49.6%) ②30代(44.7%) ③10・20代(40.1%)

④65～74歳(37.5%) ⑤50～64歳(35.3%) ⑥75歳～(23.9%)

参加したい ①10・20代(42.6%) ②65～74歳(41.9%) ③50～64歳(39.4%) ④30代(36.7%) ⑤40代(35.9%) ⑥75歳以上(32.1%) という順になった。

若い世代は活動の機会もあり、今後も機会があれば参加したいと回答した割合が高い。65～74歳は今まで参加の機会が少なかったが、参加への意欲が高い傾向が見られた。

にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン

「西区地域福祉保健計画」推進のための区民アンケート

西区では、住み慣れたまちで『誰もが①こやかに、誰もが②あわせに、いきいきと③らし続けること』をめざして、多くの区民の皆様にご参画いただき策定した西区地域福祉保健計画に基づき、区民の皆様とともにまちづくりを推進しております。

平成21年度までの5年間を計画の期間としておりますが、本年は、その中間年にあたりますので、区民の皆様の取り組み状況を把握し、今後の計画推進の資料とさせていただきますため、アンケートを実施いたします。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解の上、調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

平成19年 8月

横浜市西区長

二木 健夫

ご記入にあたってのお願い

- ★ このアンケート調査の対象者は、18歳以上の西区民2,500人を無作為に抽出させていただきます。
- ★ 質問の中の「あなた」とは、封筒の宛名のご本人を指しますので、質問にはその方自らがお答えください。
なお、ご本人がご記入できない場合は、ご家族などご本人の状況をご存知の方がご記入ください。
- ★ 1ページから最後のページまで順にお答えください。回答は、当てはまる番号に○をつけてください。
質問文にある「1つだけ○」、「あてはまるものすべてに○」などの説明に従ってご回答ください。
- ★ ご記入いただいた調査票は 9月4日(火)までに、同封の返信用封筒をお使いになってご返送ください。
- ★ 計画に関する情報はホームページでもご覧いただけます。
<http://www.city.yokohama.jp/me/nishi>
- ★ このアンケート調査についてご不明な点がございましたら次のところまでお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

西区 福祉保健課 事業企画係

電話 320-8437 FAX 324-3703

電子メール ni-hukuho@city.yokohama.jp

* お答えいただいた内容は本調査の目的以外に使用したり、個人の内容を公表することは一切ありません。

はじめよう 今日からわたしにできること

まず、はじめに、あなた自身のことについておたずねします。

《あてはまる番号を○で囲み、()には具体的にご記入ください。差しつかえのない範囲でご記入ください。》

[居住地区] あなたのお住まいの町名が含まれている番号に○をしてください。

- 1 桜木町・花咲町・紅葉ヶ丘・宮崎町・戸部本町・戸部町・御所山町
- 2 西戸部町3丁目・伊勢町3丁目・中央1, 2丁目・西前町
- 3 藤棚町・元久保町・東久保町・久保町・浜松町
- 4 老松町・東ヶ丘・赤門町・霞ヶ丘・西戸部町1丁目, 2丁目・境之谷
伊勢町1, 2丁目
- 5 高島1, 2丁目・平沼1, 2丁目・西平沼町・岡野1, 2丁目
南幸1, 2丁目・北幸1, 2丁目・緑町・みなとみらい
- 6 浅間町・南浅間町・浅間台・楠町・宮ヶ谷・南軽井沢・北軽井沢

[職業] あなたの職業について1つだけ○をつけてください。

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 主婦 5 学生
- 6 パート・アルバイト 7 無職 8 その他 ()

[居住形態] あなたのお住まいの形態について1つだけ○をつけてください。

- 1 持ち家 (一戸建て) 2 持ち家 (マンション・共同住宅)
- 3 賃貸住宅 (一戸建て) 4 賃貸住宅 (マンション・公営, 公団住宅・アパート)
- 5 社宅・公務員住宅 6 その他 ()

[居住年数] あなたの西区での居住年数について1つだけ○をつけてください。

- 1 3年未満 2 3～10年未満 3 10～20年未満
- 4 20～30年未満 5 30～40年未満 6 40年以上

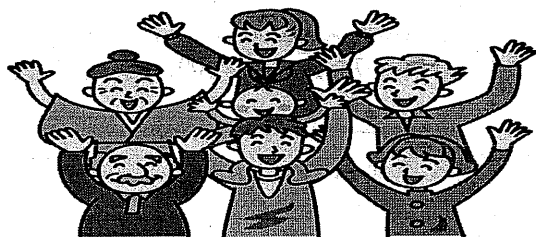
[同居家族] あなたが一緒に暮らしている人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 いない (单身) 2 配偶者 3 子ども 4 親 5 孫
- 6 兄弟姉妹 7 祖父母 8 その他 ()

[性別] あなたの性別は 1 男 2 女

[年齢] あなたの年齢は

- 1 (18～24歳) 2 (25～29歳) 3 (30～34歳) 4 (35～39歳)
- 5 (40～44歳) 6 (45～49歳) 7 (50～54歳) 8 (55～59歳)
- 9 (60～64歳) 10 (65～69歳) 11 (70～74歳) 12 (75～79歳)
- 13 (80歳以上)



誰もが こやかに 誰もが あわに
いきいきと らせるまち
 に・し・く



問 12 あなたは以下のルールを守っていますか。それぞれについてお答えください。

A ごみ出し (曜日、分別など)

- 1 必ず守る 2 守る 3 あまり守らない 4 守らない

B ポイ捨てをしない

- 1 必ず守る 2 守る 3 あまり守らない 4 守らない

C 駐輪・駐車

- 1 必ず守る 2 守る 3 あまり守らない 4 守らない
5 どちらも利用していない

D 公共の乗り物でのマナー (優先席への譲り合いなど)

- 1 必ず守る 2 守る 3 あまり守らない 4 守らない

問 13 あなたはルールを守らない人を見かけたときに注意をすることができますか。

- 1 いつもできる 2 ときどきできる 3 あまりできない 4 できない

問 14 あなたはここ2～3年の間で、障害者(児)の方と共に活動を行う機会がありましたか。

- 1 たくさんあった 2 少しあった 3 あまりなかった 4 なかった

問 15 あなたは今後、お住まいの地域の中で障害者(児)の方と共に活動する機会(同じ場所で同じ体験をするような活動など)があれば、参加したいと思いますか。

- 1 積極的に参加したい 2 参加したい 3 あまり参加したくない
4 参加したくない 5 わからない

問 16 あなたはここ2～3年の間で、家族以外で自分の世代とは違った方(子どもと高齢者、中高年と青少年など)と共に活動する機会がありましたか。

- 1 たくさんあった 2 少しあった 3 あまりなかった 4 なかった

問 17 あなたは今後、お住まいの地域の中で、自分の世代とは違った方と共に活動する機会(年長者の方から生活の知恵や昔の話を聞く、または自分が伝えるなど)があれば、参加したいと思いますか。

- 1 積極的に参加したい 2 参加したい 3 あまり参加したくない
4 参加したくない 5 わからない

問 18 あなたは近隣の子ども(中学生以下のお子さん)にあいさつなど、声をかけることがありますか。

- 1 よくある 2 ときどきある 3 あまりない 4 ない

E 通院や施設への行き帰りの付き添い

- 1 している 2 していない
↓ (今後は)

1 かなりできる 2 ときどきできる 3 あまりできない 4 できない

F 部屋の掃除や片づけ

- 1 している 2 していない
↓ (今後は)

1 かなりできる 2 ときどきできる 3 あまりできない 4 できない

G 草むしり

- 1 している 2 していない
↓ (今後は)

1 かなりできる 2 ときどきできる 3 あまりできない 4 できない

H 話し相手

- 1 している 2 していない
↓ (今後は)

1 かなりできる 2 ときどきできる 3 あまりできない 4 できない

I おかずなどのおすそ分け

- 1 している 2 していない
↓ (今後は)

1 かなりできる 2 ときどきできる 3 あまりできない 4 できない

問 23 あなたはこれまで、お住まいの地域で行われている以下の活動に参加したことがあるですか。また、これまで参加したことがない方は、今後機会があれば、参加したいと思いますか。それぞれについてお答えください。

A 自治会・町内会などの活動（役員活動）

- 1 参加したことがある 2 参加したことがない
↓ (今後は)

1 積極的に参加したい 2 参加したい
3 あまり参加したくない 4 参加したくない

B 自治会・町内会で行う地域行事（お祭り、運動会など）

- 1 参加したことがある 2 参加したことがない
↓ (今後は)

1 積極的に参加したい 2 参加したい
3 あまり参加したくない 4 参加したくない

C 自治会・町内会の部会活動（子ども会、老人会、青年部、婦人部など）

- 1 参加したことがある 2 参加したことがない
↓ (今後は)

1 積極的に参加したい 2 参加したい
3 あまり参加したくない 4 参加したくない

D 自主的なグループサークル活動（学習、趣味、スポーツ・レクリエーションなど）

1 参加したことがある

2 参加したことがない

↓
(今後は)

1 積極的に参加したい

2 参加したい

3 あまり参加したくない

4 参加したくない

E 高齢者や障害者（児）への手助けなどの福祉活動

1 参加したことがある

2 参加したことがない

↓
(今後は)

1 積極的に参加したい

2 参加したい

3 あまり参加したくない

4 参加したくない

F 健康づくり講座

1 参加したことがある

2 参加したことがない

↓
(今後は)

1 積極的に参加したい

2 参加したい

3 あまり参加したくない

4 参加したくない

問 24 あなたは今後も（高齢になっても、支援が必要になっても）西区に住み続けたいと思っていますか。

1 どちらかというに住み続けたい

2 どちらかというに住み続けたくない

3 考えたことがない（わからない）



近隣で、困っている人を支える関係づくりのアイデアがあれば、ぜひ、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。返信用封筒にてご返送ください。